

令和 2 年 度

新潟市文化財調査概要

新潟市教育委員会



国登録有形文化財に新規登録された旧片桐家住宅 主屋・土蔵外観（南東から）



国登録有形文化財に新規登録された旧片桐家住宅 土蔵外観（南東から）



須恵器環状瓶 (曾我墓所遺跡)
かんじょうへい そがぼしよ



鳥形製品 (曾我墓所遺跡)
そがぼしよ



船が描かれた線刻土器 (道正遺跡)
どうしょう



西蒲区角田浜で新発見の
前方後円墳の立地
(角田岬西方海上から)

目 次

I	令和2年度文化財調査概要	
1	文化財保護体制と文化財の現況	1
	(1) 文化財保護体制	
	(2) 令和2年度組織図	
	(3) 文化財の現況	
2	一般文化財	2
	(1) 国登録文化財の新規登録	
	(2) 第25期新潟市文化財保護審議会	
	(3) 歴史資料の保存	
	(4) 一般文化財の調査、保護、活用	
	① 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業	
	② 重要文化財（建造物）「旧笹川家住宅」耐震診断事業	
	③ 動く市政教室	
	④ 新潟市文化財保護調査事業費補助金の交付	
3	埋蔵文化財	11
	(1) 概要	
	(2) 史跡の保存活用事業	
	(3) 文化財センター活用事業	
II	文化財調査報告	17
	新潟市西蒲区角田浜で新発見の前方後円墳について	
III	資料	31
1	国・県・市指定文化財、国登録文化財一覧表	
2	区別・ジャンル別文化財件数表	
3	歴史文化課等の変遷	

I 令和2年度文化財調査概要

1 文化財保護体制と文化財の現況

(1) 文化財保護体制

文化財保護事務は教育委員会の事務であるが、平成11年度に教育委員会生涯学習課等の所管事務を引き継ぎ市長部局である総務局国際文化部歴史文化課が設置され、それ以降歴史文化課が補助執行している。

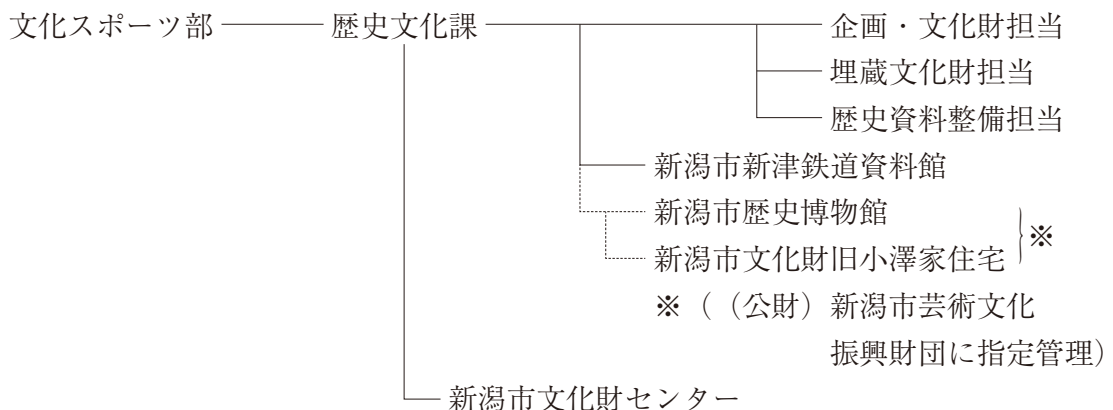
令和2年4月1日現在、新潟市文化スポーツ部歴史文化課は、課長以下、22名の正規職員、会計年度任用職員で構成されている。また、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存・活用する施設として準課相当の機関の新潟市文化財センターがあり、職員は所長以下、12名の正規職員、会計年度任用職員で構成されている。

また、各区役所地域総務課等が各区の文化財に関する業務を所管し、区役所に設置される一部の機関（北区郷土博物館、西蒲区巻文化会館）も文化財に関する業務を所管している。さらに必要に応じて、地区公民館の職員に各区地域総務課等の併任発令を行い対応している。

市内の歴史文化施設の所管については、新潟市文化財センター、新潟市新津鉄道資料館、新潟市歴史博物館（旧新潟税関庁舎等含）は歴史文化課で所管し、それ以外は区役所が所管している。

歴史文化課等の変遷については「Ⅲ 資料」に掲載している。

(2) 令和2年度組織図



(3) 文化財の現況

令和2年度、新潟市内の文化財新規指定及び解除はなかった。

令和3年3月31日現在、市内に存する指定文化財は計323件（国21件、県41件、市261件）、国登録文化財は36件である。

文化財の件数（区別の件数、ジャンル別の件数）と、指定文化財及び登録文化財の一覧表は「Ⅲ 資料」に掲載している。

2 一般文化財

(1) 国登録文化財の新規登録

① 旧片桐家住宅

ア 名称及び員数	旧片桐家住宅主屋・土蔵 2棟
イ 登録年月日	令和3年2月4日
ウ 登録番号	主屋：第15-0531号 土蔵：第15-0532号
エ 所在地	新潟市中央区上大川前通十二番町2742
オ 建設年代	主屋：明治35年 土蔵：明治前期
カ 構造・形式等	主屋：木造平屋建、瓦葺一部金属板葺、建築面積196㎡ 土蔵：土蔵造2階建、瓦葺、建築面積37㎡
キ 登録理由	国土の歴史的景観に寄与しているもの
ク 図版・所見	長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授 平山育男
ケ 沿革と建物の特徴	

片桐家は、初代の寅吉が明治18（1885）年に片桐鮮魚問屋を東堀通十一番町に設けたことに始まり、明治20（1887）年代中頃からは沿海州へ買魚に出たという。2代目寅吉は明治37（1904）年に問屋を株式会社新潟鮮魚問屋へ改組し、佐渡と岩舟でマグロ定置網も経営し、ロシア領水産組合新潟支部副支部長も務め、大正時代には、新潟の北洋漁業家では最大規模の汽船を導入した。3代目は昭和12（1937）年に会社を新潟中央水産市場株式会社と改め、これが現在に続くものとなっている。

旧片桐家住宅の敷地は上大川前通に東面しており、敷地の間口は20m程、奥行は25mとなっている。この敷地の上大川前通に面して主屋が配され、背面に土蔵が建つ。建物は周囲の景観にもよく馴染み、平面構成や雲筋違などの構法は地域における伝統的な技術を伝承するものとなっている。

主屋は上大川前通に面した正面を寄棟造、背面を切妻造とする棧瓦葺妻入の形式で、木造平屋建とする。規模は、間口となる梁行が5間半で11.3m、奥行きとなる桁行が8間半で18.2mとなる。

土蔵は東面となる桁行中央に入口を開く。土戸となる開き戸の内側に土戸、板戸、網戸の引き戸を立てる。1階は1室で、南側の中程に階段を配し、南、西、北の3方に棚を設ける。2階も1室で、北側壁面に沿って押入を設ける。



旧片桐家住宅 主屋外観（南東から）



旧片桐家住宅 土蔵外観（南から）

(2) 第25期新潟市文化財保護審議会

① 委員名簿

(任期：令和2年6月1日～令和4年5月31日 役職等は令和3年3月31現在)

役職	氏名	所属・職名等	専門分野等
委員	浅倉 有子	上越教育大学大学院 学校教育研究科教授	有形文化財 (歴史資料〔近世史〕)
委員	岩田 多佳子	新潟市芸術文化振興財団嘱託	有形文化財 (絵画・美術工芸品)
委員	小田 節子	元新潟市立内野中学校教諭	無形民俗文化財 (邦楽)
委員	加賀谷 真梨	新潟大学人文学部准教授	有形・無形民俗文化財
委員	栗田 裕司	新潟大学理学部准教授	記念物 (地質鉱物・石油地質)
委員	黒野 弘靖	新潟大学工学部准教授	有形文化財 (建造物)
委員	坂井 秀弥	公益財団法人 大阪府文化財センター理事長 奈良大学名誉教授	記念物 (史跡) 有形文化財 (考古資料)
委員	中村 元	新潟大学人文学部准教授	有形文化財 (歴史資料〔近現代史〕)
委員	松岡 久美子	近畿大学文芸学部准教授	有形文化財 (彫刻・美術工芸品)
委員	森田 龍義	新潟大学名誉教授	記念物 (植物)
委員	山崎 誠子	日本大学短期大学部准教授	記念物 (名勝)

② 会議の概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み会議の開催を見送った。これに伴い、会長・副会長の選出についても見送った。

(3) 歴史資料の保存

① 歴史情報発信事業

ア 「新潟市歴史資料だより」第28号の刊行

イ 歴史講座「古資料が語る新潟の歴史」

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み開催を見送った。

ウ 「(仮称)新潟市文書館」開館プレ講座の開催

令和3年度中の開館に向けて、講座「公文書館の魅力と役割～(仮称)新潟市文書館の開館に向けて～」を、万全の感染対策を施し、参加人数を限定して、新潟市中央図書館ほんぽーと多目的ホールで開催した。36名の参加者があり、講演講師にリモート方式で出演してもらった。

開催日	講義名	講 師
令和3年 3月13日 (土)	文書館への招待 ～資料を使って新潟市文書館の概要紹介～	長谷川 伸 (新潟市歴史文化課)
	講演：記録を守る、未来に活かす ～公文書管理の充実に向けた取り組み～	加藤 丈夫 (独立行政法人国立公文書館館長)

エ 市政さわやかトーク宅配便をととしての新潟市の歴史の紹介

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み実施を見送った。

オ 自治体史等の販売

『新潟市史』及び『黒埼町史』のほか合併旧市町村の市町村史、及び『図説新潟開港150年史』を販売した。

② 地域資料調査収集事業

ア 歴史資料の所在確認調査

新潟市域における主な民間所蔵資料の現状確認調査、また寄贈等の申し出のあった新出資料の調査を実施している。令和2年度は市内・市外計5か所の調査を実施した。

イ 歴史資料の整理

令和2年度は、中央区学校町通の古俣家文書、愛知県額田郡幸田町の三菱ケミカル・クリンスイ株式会社新潟地震関係写真資料、秋葉区新栄町の木下家の細井平洲関係資料、秋葉区大安寺の松川家海軍関係資料、秋葉区大安寺の井浦家文書(追加資料)、西区浦山加藤功氏収集の旧湊小学校旧蔵写真資料、中央区旧大畑小学校文書の整理及び目録作成を行った。

ウ 歴史資料の公開

令和2年度は、庁舎移転と新型コロナウイルス感染症対策のため、約3か月間の閲覧停止期間があったが、閲覧137件、複写125件、掲載21件の合計283件の一般利用があった。

エ 寄贈資料の受入

令和2年度は、中央区学校町通の古俣衛氏、広島市東区の堀田佳克氏、愛知県額田郡幸田町の三菱ケミカル・クリンスイ株式会社(新谷純二氏)、秋葉区新栄

町の木下日出男氏、秋葉区大安寺の松川年栄氏、秋葉区大安寺の井浦秀夫氏（追加資料）、西区浦山の加藤功氏からの寄贈があった。

③ 歴史的公文書保存事業

ア 公文書分類センターの利用管理

新規に30年保存文書、長期保存文書となった紙媒体の公文書について目録を作成し、味方・月潟・岩室・新津公文書分類センターに収納した。また文書保存箱の所在について、棚所在図、棚見取り図、文書保存箱リスト等を作成することにより、各課利用の利便を図った。

イ 歴史的公文書の引き継ぎ

平成6年度より、廃棄公文書の中から歴史的価値のある文書を、選別して歴史的公文書として引き継ぎ保存している。令和2年度は、紙媒体で32点、電子媒体で21点、文書保存箱にして16箱分を引き継いだ。

ウ 資産税関係文書の整理

横越公文書分類センターで、新規に移管を受けた資産税関係文書（更正図・土地台帳）の整理を行っている。令和2年度はこれまでの整理済み資産税関係文書の見直し、再整理を行った。

④ 加盟団体研修会等への参加

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、独立行政法人国立公文書館主催のアーカイブス研修Ⅰ（初任者）・Ⅱ（テーマ別）への参加を取り止めた。新潟県歴史資料保存活用連絡協議会の研修会に参加した。

(4) 一般文化財の調査、保護、活用

① 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業

ア 文化財の概要

名 称	名勝旧齋藤氏別邸庭園
所 在 地	新潟市中央区西大畑町576番2 外9筆
所 有 者	新潟市（新潟市中央区役所地域課所管）
対 象 範 囲	新潟市が所有する施設「新潟市旧齋藤家別邸」のうち西側の駐車場を除いた範囲で面積は4,400.30㎡
指定年月日	平成27年3月10日（文部科学省告示第39号）

イ 経緯

平成27年の名勝指定を受け、平成28年度に『名勝旧齋藤氏別邸庭園保存活用計画』を策定し、今後目指すべき庭園の将来像と保存、管理、整備、活用の方針を定めた。平成30年度には保存活用計画をふまえ今後必要となる整備の基本方針と計画内容を具体的に記したアクションプランである『名勝旧齋藤氏別邸庭園整備基本計画』を策定した。この整備基本計画に基づき令和元年度に策定した基本設計及びその後に策定される実施設計に基づき、保存整備工事を順次実施している。

ウ 事業内容

(ア) 事業名称 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業

(イ) 事業主体 新潟市（文化庁の国庫補助金を受けて実施）

※設計及び設計監理は株式会社文化財保存計画協会に業務委託

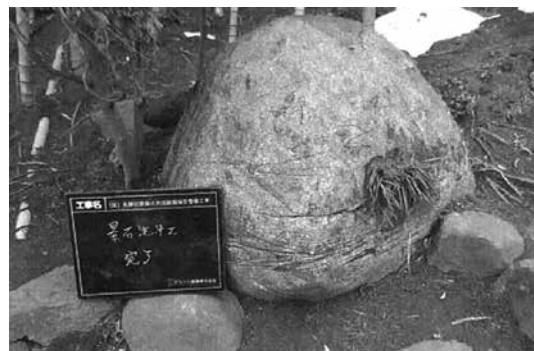
(ウ) 主な事業内容

平成30年度	・『名勝旧齋藤氏別邸庭園整備基本計画』策定 ・マツクイムシ対策実施
令和元年度	・基本設計策定 ・一部庭園実施設計策定 ・一部庭園整備工事（竜安寺垣の更新）
令和2年度	・一部庭園実施設計策定 ・一部庭園整備工事（名勝標柱設置、縦穴排水設置、景石洗浄、枯損イスノキ抜根、苔移植、樹木枝下ろし、園路顕在化）

※上記の他に、毎年度名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会を実施



設置された名勝標柱（令和2年度）



洗浄した景石の様子（令和2年度）
※苔等是一部残す仕様

エ 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会の実施

名勝旧齋藤氏別邸庭園の保存整備事業を実施するに際し、「名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を平成30年度に設置した。事務局を文化スポーツ部歴史文化課とし、庭園及び建造物の学識経験者4名で委員を構成した。令和2年度は、会議を1回開催した（第5回）。なお、会議については新型コロナウイルス感染症対策のため、リモート形式で開催した。

検討委員会の開催経過

	開催日	内 容
第1回	平成30年8月10日	○委員長選出 ◆協議事項 （1）事業及び委員会スケジュールと計画書構成案 （2）庭園課題の整理と基本方針 （3）全体計画と庭園課題箇所の個別計画 （4）庭園空間構造分析（視点場等分析） （5）公開活用計画と動線計画 （6）建造物の課題整理と修理方針 ○現地視察
第2回	平成30年10月15日	◆協議事項 整備基本計画素案の確認、検討
第3回	平成30年12月14日	○現地視察 ◆協議事項 （1）建造物に関する整備計画検討 （2）庭園に関する整備計画検討
第4回	令和2年2月25日	◆報告事項 （1）庭園に関する調査結果 （2）建造物に関する調査結果 ◆協議事項 （1）庭園に関する整備検討内容について （2）建造物に関する整備検討内容について ○現地視察
第5回	令和3年2月15日	◆報告事項 （1）測量成果について （2）本年度庭園工事の状況について（一部検討） ◆協議事項 次年度工事予定内容における検討事項について

「名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会」委員

氏名	所属等	役割
栗野 隆	東京農業大学准教授、 元旧齋藤氏別邸庭園保存活用計画検討委員会委員	委員長
金出 ミチル	長岡造形大学非常勤講師、同上委員	
松本 恵樹	春秋設計工房代表（作庭者松本亀吉子孫）、同上アドバイザー	
山崎 誠子	日本大学短期大学部准教授、新潟市文化財保護審議会委員	

アドバイザー：文化庁文化財第二課名勝部門文化財調査官 青木達司

オブザーバー：新潟県教育庁文化行政課主任調査員 山崎忠良



第5回委員会の様子

② 重要文化財（建造物）「旧笹川家住宅」耐震診断事業

ア 文化財の概要

名 称	重要文化財（建造物）旧笹川家住宅（表座敷及び台所ほか全11棟）
構 造 形 式	木造、延床面積1,789.7㎡、一階建及び二階建、銅板葺及び棧瓦葺ほか
建 築 年 代	江戸時代後期〔文政3（1820）年～慶応3（1867）年〕、明治時代
所 在 地	新潟市南区味方216番地
所 有 者	新潟市（南区役所地域総務課）
指定年月日	昭和29年3月20日、昭和53年5月31日、平成3年5月31日

イ 経 緯

平成27・28年度に策定した『重要文化財旧笹川家住宅保存活用計画』に基づき、今後の耐震補強の方向性を決定するべく、平成30年度から令和2年度にかけて文化庁国庫補助事業として耐震基礎診断を実施した。

ウ 令和2年度事業概要

- （ア）事業名称 令和2年度 重要文化財旧笹川家住宅耐震診断業務
- （イ）事業主体 新潟市（文化庁の国庫補助金を受けて実施）
- （ウ）委託業者 公益財団法人文化財建造物保存技術協会
- （エ）業務内容 構造補強案の策定、報告書作成

③ 動く市政教室

概要 広聴相談課からの依頼を受け、市民を対象として、テーマに基づいて文化財所在地をめぐる広報活動である。文化財そのものや文化財保護行政への理解の深化をねらいとする。例年1回ないし2回の教室を実施している。

ア 開催日 令和2年9月9日（水）、9月17日（木）

※同じコースで2回実施。また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、半日日程で実施した。

イ テーマ 「歴史文化施設マル秘エリアツアー！」

市内の歴史文化施設及び文化財について、公開部分に加えて普段は非公開としている部分を特別に見学した。それぞれの施設の事業内容や文化財、文化財保護行政について理解を深めるとともに、より新潟のすばらしさを感じることを目的とした。

ウ コース 市指定有形文化財旧小澤家住宅及びその周辺エリア散策（国登録有形文化財旧片桐家住宅・高須家住宅の紹介を含む） → 重要文化財旧新潟税関庁舎、新潟市歴史博物館

エ 成果 動く市政教室では、参加した市民に事後の感想を提出していただいている。それによると、「旧小澤家住宅は3回以上訪れたが、今回、貴重な奥座敷などの案内があり、とても良い経験になった。また、周辺の文化財なども、全く知らなかったこともあり、大変参考になった。」「歴史博物館の資料収集、資料保管、展示物の設営など裏方の苦勞について理解が深まった。机上で説明を受けた場合と、実際に現場で説明を聞きながら見学することで得られる理解とでは、理解のレベルが全く違うものだということを改めて感じた。」等、市民に文化財や施設等について理解いただく良い機会になったと考えられる。また、他にも「歴史を感じる、この時間に感動した。」「初めて見聞きすることばかりで、充実したマル秘エリアツアーだった。」等多くの肯定的な意見をいただいた。



旧小澤家住宅見学の様子



旧新潟税関庁舎 石庫見学の様子

④ 新潟市文化財保護調査事業費補助金の交付

令和2年度新潟市文化財保護調査事業費補助金

ア 事業名称	新潟市指定文化財「山口家の大たぶの木」樹勢回復事業
イ 補助事業者	山口 樹
ウ 補助対象経費	115,500円
エ 補助額	57,000円（補助対象経費の50% ※千円未満切捨）
オ 事業期間	令和2年11月21日～12月21日
カ 事業概要	

「山口家の大たぶの木」は西蒲区山口新田にある推定樹齢200年のタブノキである。高さが約15m、幹の周りが3mあり、平場地帯でこれほど大きなタブノキは珍しいといわれている。

幹にキノコが生えるなど木材腐朽菌の繁殖がみとめられ、適切な処置を行わなければ枯死するおそれがあったため、樹勢回復を目的として、地面に穴をあけ中に牛糞と遅効性固形肥料を混ぜ込む方法で土壌改良を行った。



新潟市指定文化財 山口家の大たぶの木

3 埋蔵文化財

(1) 概要

① 埋蔵文化財保護関係事務

新潟市の埋蔵文化財保護行政は、歴史文化課と文化財センターで所管している。

事務分掌としては、歴史文化課では開発調整・試掘確認調査・工事立会・史跡に関する事項（史跡古津八幡山遺跡を除く）を担当し、文化財センターでは本発掘調査・保存処理・出土品整理活用（再整理・公開普及・資料展示貸出など）・史跡古津八幡山遺跡に関する事項を担当している。

開発調整では、国・県・市の行う公共事業や民間の開発行為・農振除外・農地転用・建築確認・不動産鑑定などに伴う申請・届出・照会等に対する事前審査を行い、「新潟市試掘確認調査基準」（平成19年4月1日）に基づいて試掘確認調査の要否を判断している。

なお、令和2年度の審査件数は10,566件（うち民間事業8,954件、公共事業1,612件）であった。前年度の10,022件と比べ、民間事業では455件の増、公共事業では89件の増となり、全体としては544件の増であった。

審査の結果、文化財保護法上の取り扱いとなったものは、法93条（民間事業）関連107件で昨年度比17件の減、法94条（公共事業）関連47件で昨年度比9件の増であった。

② 試掘確認調査・工事立会

各種開発に先立ち、開発地における遺跡の有無や範囲等を把握し、埋蔵文化財保護協議の資料を得ることを目的に試掘確認調査を実施した。また、工事による遺跡への影響が軽微な場合は工事立会で記録を作成した。令和2年度の試掘確認調査の件数は表1に示した。

なお、令和2年度の試掘調査で9遺跡（No.810^{ど い うち}土居内遺跡・No.811^{とびおち}飛落遺跡・No.812^{でらうら}寺裏遺跡・No.813^{まんごく}萬石遺跡・No.814^{まんごくみなみ}萬石南遺跡・No.815^{み かみ}御神遺跡・No.816^{み とり}見取遺跡・No.817^{かさ ぎ つつみ}笠木堤遺跡・No.818^{いっしんさく}一心作遺跡）が新たに発見された。新潟市内の遺跡数は欠番を除き、近世新潟町跡の周知地点を含め、令和2年度末で800か所となった。

表 1 令和 2 年度の試掘確認調査件数

区名	調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
北 区	民 間			1	1			1	1			1		5
	公 共			1		1								2
東 区	民 間		1	1		3	2				1	1		9
	公 共													0
中央区	民 間	2	1		1	2				1	1	1	1	10
	公 共													0
江南区	民 間	1	3	1	2	1	3		2	1		1		15
	公 共			1	1	1						2		5
秋葉区	民 間	1	3	1	1		1			2		1		10
	公 共								2	1			1	4
南 区	民 間		1	1			1		2		1			6
	公 共													0
西 区	民 間		2				3	1			1	2		9
	公 共								1					1
西蒲区	民 間	1		2					1	1	2	1		8
	公 共							4						4
合 計	民 間	5	11	7	5	6	10	2	6	5	6	8	1	72
	公 共	0	0	2	1	2	0	4	3	1	0	2	1	16
	合 計	5	11	9	6	8	10	6	9	6	6	10	2	88

③ 本発掘調査

令和 2 年度の本発掘調査は表 2 のとおりである。

表 2 令和 2 年度の本発掘調査（現地調査）

遺跡名 区 名	原 因	調査面積 (㎡)	主な時代・調査の概要	備 考
どうしょう 道 正 遺跡 江南区	主要地方道 新潟中央環状線 建設事業	4,313	縄文時代・古墳時代・平安時代 令和元年度からの継続調査。 縄文時代晩期：埋設土器 5 基・ 土坑 6 基ほか 古墳時代：竪穴建物 2 棟のほか 土坑や溝状遺構が発見された。竪 穴建物は県内でも最大級の大きさを有す。 平安時代：掘立柱建物 7 棟・井 戸 1 基ほか、土坑や溝などが発見された。 出土遺物は各時代ともに多量であり、古墳時代では県内初例となる準構造船が線刻された土器が出土している。縄文時代晩期では県内最大級となるヒスイ製の勾玉が出土している。各時代ともに貴重な発見例となったが、特に古墳時代の遺構・遺物は本市の歴史を考える上で画期的な発見となった。	発掘調査番号 2020001 亀田砂丘西端部の埋没砂丘に立地する遺跡

遺跡名 区 名	原 因	調査面積 (㎡)	主な時代・調査の概要	備 考
おかざき 岡崎遺跡 江南区	主要地方道 新潟中央環状線 建設事業	1,646	縄文時代・平安時代 縄文時代・平安時代ともに土坑などが発見されている。遺物は平安時代が最も多い。石製腰帯具の鉋尾、可搬式カマドなど市内でも出土例の少ない遺物が出土した。道正遺跡とは埋没した小河川を挟んで近接している。	発掘調査番号 2020002 亀田砂丘西端部の埋没砂丘に立地する遺跡
そ が ぼしよ 曾我墓所遺跡 江南区	横越地区 雨水調整池建設	4,770	奈良時代・平安時代 令和元年度からの継続調査。掘立柱建物4棟・竪穴建物4基・井戸2基のほか多数の遺構が発見され、居住域から生産域にわたる土地利用状況が確認された。 全国初例となる鳥足の付いた須恵器環状瓶（ほぼ完形）・高杯・ハソウのほか、鳥形製品や鉄製錫杖などの祭祀関連と推測される遺物がまとまって出土した。 遺物量も膨大で本市の歴史を考えるうえで欠かせない重要な発見が相次いだ遺跡である。	発掘調査番号 2020003 阿賀野川左岸の自然堤防上に立地する遺跡
はら 原遺跡 秋葉区	個人住宅建築	210	縄文時代 埋設土器3基・土坑10基・土坑墓1基などの遺構が発見された。縄文時代中期～晩期の土器・石器・土偶などが出土。縄文時代後期前半が主体となる。	発掘調査番号 2020004 新津丘陵北西部の丘陵から張り出した台地上に立地する遺跡

遺跡名 区 名	原 因	調査面積 (㎡)	主な時代・調査の概要	備 考
たいら 平 遺跡 秋葉区	個人住宅建築	113	縄文時代 調査地は縄文時代中期前葉と後期前葉の遺構密集地帯に当たり、上層では土坑 28 基・ピット 59 基が、下層では土坑 7 基・ピット 189 基・竪穴住居状遺構 1 か所が発見された。上層土坑の中には土器の混和材となりうる砂の集積遺構が 7 基ある。上・下層で発見されたピットから小型の掘立柱建物が 18 棟想定できる。後期前葉の遺構と推測される。 出土遺物は中期前葉の土器が多量に出土し、土偶・石器も出土している。中期の土偶は県内最小クラス。アスファルトを加熱した中期前葉の土器は県内でのアスファルトの利用開始時期を知る上で重要な資料となった。	発掘調査番号 2020005 新津丘陵東縁の河岸段丘（台地）上に立地する遺跡

④ 史跡関連調査及び活用事業

古津八幡山遺跡の保存を目的とした確認調査を実施した。これは、遺跡の内容の詳細を確認するための調査である。平成29年度から実施しており、4か年目になる。

活用事業では古津八幡山遺跡での体験イベントや、弥生の丘展示館で企画展および関連講演会などを実施した。詳細は「（2）史跡の保存活用事業」に記した。

⑤ （仮称）^{かく だ はまみょうこう じ やま}角田浜 妙光寺山古墳の発見について

この古墳は令和2年4月5日の新潟日報で報道され、翌4月6日の同紙地域版でさらに詳細な報道があり広く県民の知るところとなった。測量調査は、新潟大学名誉教授橋本博文氏を中心とした研究グループにより進められた。発見に至る経緯や調査概要、調査の結果わかってきた古墳の性格については「Ⅱ 文化財調査報告新潟市西蒲区角田浜で新発見の前方後円墳について」に詳しく報告されている。

古墳の名称は橋本氏の提案を受け検討した。「角田浜」は大字名である。遺跡の名称は原則的に小字名を採用することが通例となっているが、古墳が海岸部に位置することを明瞭に示していることから大字名で良いと考える。続く「妙光寺山」は、新潟市巻郷土資料館の収蔵資料『角田妙光寺願正寺争論絵図』（元禄5（1692）年）に記載されており、新潟市歴史博物館の専門職員と歴史文化課歴史資料整備担当の専門職員による検証の結果、この絵図は元禄5年に描かれたものと確証を得た。江戸時代、古墳の立地する尾根を妙光寺山と呼称していたことが判明したことから海岸部に位置した尾根上に立地する古墳の名称にふさわしいと考えられる。今後は「周知の埋蔵文化財包蔵地」として遺跡台帳に登録・周知化し、関係者と連携を取りながら貴重な遺跡の保護に取り組んで行く。

(2) 史跡の保存活用事業

以下、史跡古津八幡山遺跡ならびに新潟市古津八幡山遺跡歴史の広場（史跡公園・弥生の丘展示館）にかかる保存活用事業の概要について記載する。なお、各事業の詳細については、新潟市文化財センターが毎年発行している『新潟市文化財センター年報』を参照されたい。

① 委員会・部会

国史跡古津八幡山遺跡保存活用計画等推進委員会（以下、委員会）を1回、同調査指導部会を2回開催した。なお、3月の委員会・調査指導部会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、郵便とメールを利用して報告、委員意見の聴取を行った。



大型竪穴建物（SI1）調査風景

② 古津八幡山遺跡確認調査

昨年度に引き続き遺跡北東域の史跡指定地外において確認調査を実施した（第23次調査）。調査により、大型竪穴建物（SI1）は6本柱構造の建物であることが判明した。また、炉や貯蔵穴が確認されず、特別な性格の建物である可能性が推測された。調査成果については、10月3日（土）に現地説明会を行ったほか、2月28日（日）に市文化財センター主催の遺跡発掘調査速報会で報告した。今後は、尾根の北側を中心に調査を行い、遺構の広がりについて把握していく予定である。



現地説明会の様子

③ 整備事業

1月の大雪の影響で、史跡公園の復元竪穴住居の7棟のうち4棟が雪の重みで傾く被害に遭った。西からの強風により、雪が住居の東側に集中して堆積したこと等が被害の要因と考えられる。現在は来訪者の安全を確保するためにロープで囲い、内部への立ち入りを禁止している。今後、被害を受けた4棟について復旧を行う方針である。

④ 活用事業

弥生の丘展示館の年間来館者数は29,103人であった。団体利用は市内の小学校を中心に15団体、472人の利用があった。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4月21日（火）から5月10日（日）まで臨時休館とし、体験学習については前年度の3月1日（日）から年度をまたいで5月31日（日）まで休止した。さらに、来館者が増加する夏休み期間の団体利用を受け付けない対応をとった。また、大雪の影響で1月10日（日）・11日（月・祝）の2日間を臨時休館とした。イベントは10事業を実施し、参加者数は計47人であった。企画展は3回開催し、期間中、関連講演会を2回開催、展示解説を3回実施（当初5回実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため2回を中止）し、計145人の参加があった。周辺施設との連携事業である「まいぶん春まつり」や「まいぶん秋まつり」が中止となったこと、各イベントの定員を絞ったことなどにより、参加者数が例年に比べ大幅に減少している。

(3) 文化財センター活用事業

文化財センターでは市民の方が開館中であればいつでも見学できる展示室を設けているほか、考古学・民俗学に関する講座・イベント等を開催している。令和2年度の来館者数は5,893名であった。なお、各事業の詳細については、新潟市文化財センター発行の『新潟市文化財センター年報』を参照されたい。

① 団体利用

団体利用は22団体1,202名の利用があった。このうち小学校での利用は15校のべ1,065人であった。6学年では展示室見学のほか火起こしや勾玉づくりなどの体験メニューを行った。3学年では民具を実際に使用する体験や、旧武田家住宅で地元の語り部ボランティアから昔語りを聞く体験を行った。中学校は総合学習での利用が1件あった。

② 企画展

市内の遺跡について時代や地域の偏りが無いようテーマを設定し、年3回の企画展を開催した。

③ 講座・イベント等

歴史を身近に感じていただくため募集型の講座やイベントを10回開催した。また、個人向けに申し込み不要で勾玉づくりや和同開珎づくりなどの体験が可能な体験コーナーを設けており、のべ682人の利用があった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み体験コーナーを前年度の3月1日（日）から年度をまたいで5月31日（日）まで休止したほか、再開後も体験メニューを絞ったことにより、令和2年度の体験人数は前年度に比べ大幅に減少した。

また、遺跡発掘調査速報会や企画展関連講演会では、オンラインによる配信や講師のオンライン登壇といった、感染対策とイベントを両立する試みを行った。

④ 出前講座・職員派遣

市民団体や学校からの依頼に応じて、文化財センター職員が出向き遺跡や歴史についての解説を行った。令和2年度は、23団体計1,643人の利用があった。このうち小学校は15校1,351名、中学校2校169名であった。なお、市政さわやかトーク宅配便の制度を利用したものを含む。

⑤ 資料の利用・貸出

文化財センター内で考古資料の熟覧・実測・撮影を行う特別利用が5件、企画展等での考古資料の短期貸出が5件、文化財センターが保管する写真や報告書掲載資料の掲載依頼が16件あった。

⑥ 現地説明会

発掘調査の成果を一般に公開するための現地説明会を古津八幡山遺跡（10月3日（土）開催）・道正遺跡・岡崎遺跡・曾我墓所遺跡（10月10日（土）開催）で行い、計860名の参加があった。



道正遺跡現地説明会

Ⅱ 文化財調査報告

新潟市西蒲区角田浜で新発見の前方後円墳について

橋本 博文

はじめに

このたび、新潟市歴史文化課の求めに応じて同市西蒲区角田浜で新たに発見された前方後円墳に関し、遺跡の周知化を図るため正式測量報告書の刊行を前に調査の経緯や概要などをメモとして記録しておく。なお、これまでの関係資料は、文末の参考文献（文新協2020、橋本2021）に拠られたい。

（1）調査経緯および経過

平成29（2017）年3月、山城研究者の岡田建紀氏が古墳背後の「ジョー山」を「城山」とみて山城の可能性を確認すべく登ったところ、その途中にある当古墳の存在に気づいた。その後円部背後の掘割が山城由来のものではなく古墳に伴うもので、古墳の形も前方後円墳とみて簡易な略測を行い、おおよその規模と形態を明らかにした。さらに、主軸が一直線ではなく、途中で折れ曲がっていることにも言及されている（岡田2020）。その後、考古学者の横山勝栄氏から新潟市関係者に伝えられたが、残念ながらその情報は行政側に共有されなかった。

そうこうしているうちに、令和元（2019）年9月、岡山県倉敷市埋蔵文化財センターの職員、藤原好二氏が国土地理院の傾斜量図で発見し、前方後円墳研究者である、くらしき作陽短期大学の澤田秀実氏を介してそれを現地に確認して欲しいという連絡を橋本ら3名に送った。それを承けて、橋本らは現地に赴き、前方後円墳か否かを確認した。その結果、紛れもない前方後円墳であることを認識し、澤田氏をとおして藤原氏の意向をうかがい、同年秋ぐちの測量調査を待った。

その間、新潟法務局で土地所有者を割り出し、所有者の測量調査に関する承諾をとりつける一方、100mを超える比高差で、急峻な斜面の地形的制約の下、国土座標をどのように移動するかがネックとなった。そこで、新潟大学農学部村上拓彦准教授の管理している測量器材を借用し、GPSによる位置情報を取得し、測量の開始に備えた。その後、コロナ禍の影響もあって調査が延期になったが、コロナ禍の影響の下火な令和2（2020）年3月、暖冬の雪解けをまって倉敷の二氏の了解の元、測量調査を地元有志で一先ず開始した。

その後、藤原好二氏の山陽新聞の取材記事が新潟県内の研究者の目にとまり、その問い合わせから新潟県・新潟市の行政当局の知るところとなった。さらにその情報は新潟日報、NHK新潟支局にも入り、マスコミによって一般市民に周知された。

コロナ禍の中、調査は断続的に実施された。その過程で、後円部の中心付近の地表に巨石のあることが確認され、その性格を探るべく、新潟大学災害・復興科学研究所の卜部厚志教授らにレーダー探査を依頼し、測量調査に並行して調査を実施した。そして、墳丘をはじめ背後の掘割の大方入った測量図面が令和2（2020）年10月には完成した。

一方、上越市の方でも山城研究家が吉川区町田の前方後円墳を発見したとする一報が入った。それらをうけて、同年11月23日に文化財保存新潟県協議会の主催でシンポジウム『前方後円墳新発見一角田浜で、頸城平野で、あなたの町で…』を開催した（文新協2020）。コロナ禍の中、会場の人数制限があるにもかかわらず約180名の参加者があった。

（2）名称

当古墳の呼称に関しては、多くの意見が寄せられ、第一発見者の岡田氏からは「角田城古墳」という提案もあった（岡田2020）。確かに発見の経緯が象徴的に示されるが、そもそも「ジョー山」を山城とする確証もないので、不都合とする考えもあった。普通、遺跡名をつける時に、字名で命名することが慣例で、すると大字名の「角田浜古墳」となる。すると、広域な角田浜のどこかという問題が生じる上、海に臨む立地がイメージされる。実際のところ直接海には接していないし、むしろ山上に在る立地とは印象が異なる。そこで小字名となると丘陵の稜線に地境があって、「御坊沢」、「宮沢」の小字名二つに古墳が跨っている。その結果、呼称はさらに複雑となるのに加えて、小字名は沢名であって尾根名ではなく登山者の一部や極限られた地元関係者にしか知られていない。

そんな中、古墳ののる尾根の呼び名が江戸時代の元禄5（1692）年の古絵図、『角田妙光寺願正寺争論絵図』（新潟市西蒲区巻郷土資料館収蔵）に記載されていることが判明した。それは「妙光寺山」で、現・妙光寺から仰ぎ見られる尾根であり、古墳の立地や位置をよく物語っている。最終的に、古墳が特徴的に海側に在ることと古墳の立地・位置を示すということで、少し長くなるが、「角田浜妙光寺山古墳」と提言した。見学者も妙光寺を目指していけば行き着けるし、寺側も愛着をもってガイド・保存に協力していただけるに違いない。

（3）歴史的環境

当古墳の周辺の歴史的環境を概観すると、同時代の前期古墳は角田山麓周辺では、山の反対側に当たる内陸部の角田山東麓に位置する同じ前方後円墳、菖蒲塚古墳が注目される。新潟県内最大の全長54mの前方後円墳であるが、江戸時代に盗掘され翡翠製勾玉、緑色凝灰岩製管玉の他、県内最大の古墳時代の大型仿製鏡、甕龍鏡が出土している。その南西には前方後方墳の山谷古墳が存在する。全長37mと小型で、埋葬施設は木棺直葬。副葬品に鏡は無く、ガラス小玉、緑色凝灰岩製管玉、鉄鉈など僅少である。

弥彦山周辺に目を転じると、全長27mの小型前方後円墳、稲場塚古墳が所在する。独立丘陵頂部に在り、未掘であるが、ガラス小玉が採集されている。同様に表面採集された土器片や墳丘形態の特徴から菖蒲塚古墳に先行する県内でも最古式の前方後円墳に位置づけられている。

他に角田山の北東の平野部、潟湖に面した微高地上に緒立八幡宮古墳が存在する。墳形は円墳とされ、直径は30mほどである。外部施設に埴輪は無いが、葺石が認められ特筆される。また、先の山谷古墳の南方近く、丘陵端部に直径26mの円墳の観音山

古墳が確認されている。この古墳にも葺石の存在が知られている。

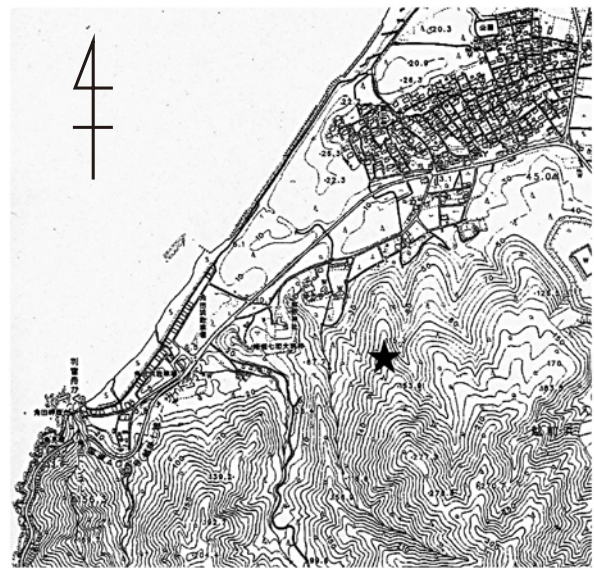
ところで、角田山北麓の高所に在る大沢遺跡（B'地区）では、弥生時代末～古墳時代
初頭の方形周溝墓や竪穴住居址が見出されている。出土土器には近江、北陸、信濃、
東北各地の外来系土器が含まれており、彼の地との交流をうかがわせるものである。

一方、先の菖蒲塚古墳の近くの南赤坂遺跡や山谷古墳の至近の御井戸遺跡からは続
縄文土器が古墳時代前期の土師器と共に出土しており、北方の人々との接触が当地を
舞台に繰り広げられていたことが推断される。

その他、当古墳より3kmほど南方の海岸部に位置する穴口遺跡では古墳時代前期の
土師器が採集されている。そこは、角田・弥彦山の最も瘠せ、高低差の少ない峠道の
入り口部分に当たる。海上交通と陸上交通の接点に位置した遺跡と評価することがで
きる。

（4）立地

角田山の北麓で、「ジョー山」
から派生する尾根の先端に近い緩
傾斜部に位置する。標高は112m
ほど、周囲の低地との比高は102m
ほどである。西側に日本海、佐渡
島を望む。北東側の新潟平野の低
地への眺望は悪い。しかし、当古
墳は佐渡島からの距離が最短の本
州島に位置するいっぽうで、新潟
平野の門戸に当たる場所に立地す
る。



角田山妙光寺山古墳位置図

0 400m

（5）墳丘形態

前方後円墳であるが、後円部は正円形ではなく楕円形を呈する。側面から見て少し
でも大きく見せようとする意図がうかがわれる。主軸は真っ直ぐではなく途中で折れ
曲がっている。自然地形の制約を受けていると考えられる。前方部は短小であるが、
纏向型前方後円墳ほどではない。前方部端部は撥形には開かない。前方部が低平で、
古相を呈する。

東側くびれ部の後円部寄りに墓道状の高まりが認められる。山谷古墳や福島県会津
大塚山古墳、愛知県志段味古墳群中の白鳥塚古墳などに類例が知られる。

（6）墳丘規模

全長は約49mで、新潟県域最大の前方後円墳が菖蒲塚古墳の54mなので、それに次
ぐ第2位の規模ということになる。付近の前方後円墳、前方後方墳では稲場塚古墳の
26.3m、山谷古墳の37mを軽く凌駕する。

各部の計測値は、後円部径約32m、前方部幅20m、前方部長17m、前方部と後円部
が接続するくびれ部の幅は20mほどである。後円部の高さは約6m（海側）、前方部

の高さは約4mで、前方部が低くなっている。後円部墳頂平坦面は前述のごとく正円ではなく東西12m、南北19.5mの南北に長い楕円形を呈する。

(7) 墳丘築造法

主軸をほぼ北に向け、いわゆる「丘尾切断」のように築かれている。山側に高く後円部を設け、尾根を下る海側に低く前方部を向けている。合理的で典型的な前期古墳の築造方法である。ト部厚志氏のご教示によれば、レーダー探査の結果、現地表下1.5mほどで反応が変わり、以下地山で、その上が盛り土と推定される。自然地形を巧みに利用して、意外と盛り土の土量は少ないと察せられる。

(8) 外部施設

外部施設のうち、埴輪は地表面では確認できない。葺石と考えられる握り拳大から人頭大の垂角礫の山石が多く認められ、特に前方部の海側の稜線や裾にはあたかも配置したように存在がうかがわれる。もしも、これが確実な葺石ならば、葺石を持つ古墳としては下越地域では緒立八幡宮古墳、観音山古墳に次いで3例目となる。山上の古墳で、周濠は全周せず、後円部背後の山側のみ断ち割っている。

(9) 内部主体

発掘調査を実施していないので不明であるが、測量時に下草を刈ったところ、後円部中心近くの、やや北寄りに自然石の大きな岩を確認した。明瞭な加工痕はなく、不整形ではあるものの、埋葬施設と関わる可能性もあるので、新潟大学災害・復興科学研究所のト部厚志教授らにレーダー探査を実施していただいた。その結果、竪穴式石室の天井石が並ぶ様子は確認できず、異常値はその大型石材の周辺に集中することが明らかになった。今後は発掘調査を経ない限り、埋葬施設の様相を解明することはできないだろう。

(10) 被葬者の性格

角田浜妙光寺山古墳の被葬者は、これまでに確認されていた内陸部の古墳被葬者と異なって水稻耕作を基盤とする広大な沖積地を古墳上から望むことはできない。むしろ、従来の古墳と違い海側に面して日本海、佐渡島を眺望することが可能である。このことから、被葬者の性格として、日本海の海上交通を掌握した姿が髣髴^{ほうふつ}とされる。角田浜や角田岬に臨んだ立地はその舟運を想起させる。逆に海上からは、角田岬を南側から回ってすぐに視界に入る山上にランドマークのように角田浜妙光寺山古墳は存在する。背後の円錐形のジョー山が目印になっている。角田岬からは佐渡島が最短距離に位置する。佐渡島への渡海の要地だったのに違いない。

角田浜妙光寺山古墳の規模は、越後の前方後円墳の中では、菖蒲塚古墳に次ぐ第2の規模である。しかし、菖蒲塚古墳とは同一時期の古墳とは考えがたい。すなわち菖蒲塚古墳に先行する先代の越後の王の古墳である。角田浜妙光寺山古墳の被葬者は一時の越後最高首長と言ってよいであろう。

(11) 背景となる集落

一般的な農耕生産の基盤となる沖積平野は付近には認めがたい。現状で周辺に確認されている遺跡では角田浜で銭原遺跡が知られているが、時代は古代・中世に下る。その下層は未掘であり、古墳時代に遡る包含層の存在も可能性がある。

佐渡海峡からは縄文土器をはじめ、古墳時代前期の土師器、平安時代の須恵器・土師器、中世の珠洲焼等、各時代に渡る土器・陶磁器が引き揚げられている。その背景には広域の海上交通がどの時代も活発であったことをうかがわせる。

角田浜に近い越前浜でも古墳時代からは下るが、平安時代の土師器甕が引き揚げられている（註）。出雲崎沖の海域では角田浜妙光寺山古墳の時期に近い古墳時代前期、新潟シンボ編年9期を中心とした時期に遡る土師器甕が海揚げりの遺物として確認されている（加藤・小林・竹部2018）。他に、椎谷沖からも同時期の土師器壺の引き揚げ例（加藤・竹部・小林・安藤2014）があり、古墳時代前期の活発な舟運が想定される。

(12) 当古墳の評価

角田浜妙光寺山古墳は新たに菖蒲塚古墳に代わって日本海沿岸地域最北の前方後円墳と認識され、ヤマト王権の北方支配の拠点勢力の墳墓に位置づけられる。続縄文文化の集団との交流や、佐渡島への中継拠点としての役割も示唆され、海上交通を掌握した被葬者像が浮かび上がる。これまで当地、角田・弥彦山麓地域に確認されていた前期古墳、稲場塚古墳・山谷古墳・菖蒲塚古墳（国史跡）・観音山古墳・緒立八幡宮古墳を含めて、将来「角田・弥彦山麓地域前期古墳群」として史跡指定を目指すことも一案である。

おわりに

当古墳は、佐渡弥彦米山国定公園内に在り、付近にはユキワリソウやカタクリ、ニリンソウなどの群落も見られる。登山客にとっての登山コースの一つにもなり、埋蔵文化財の魅力も加味して市民や子供たちにとって自然と文化財の両者に同時にふれることのできる稀で貴重な教育資源でもある。今後、両者の保護を図りつつ整備・活用されることを期待したい。

本稿を草するに当たり、新潟市歴史文化課をはじめ岡田建紀氏、藤原好二氏、澤田秀実氏、卜部厚志氏、村上拓彦氏、小川英爾氏、川上真紀子氏、石崎悠人氏、田海義正氏、加藤由美子氏の資料提供をいただいた。記して謝意を表する。

〈註〉

令和3（2021）年、橋本入手資料。別稿にて資料紹介の予定。

〈参考文献〉

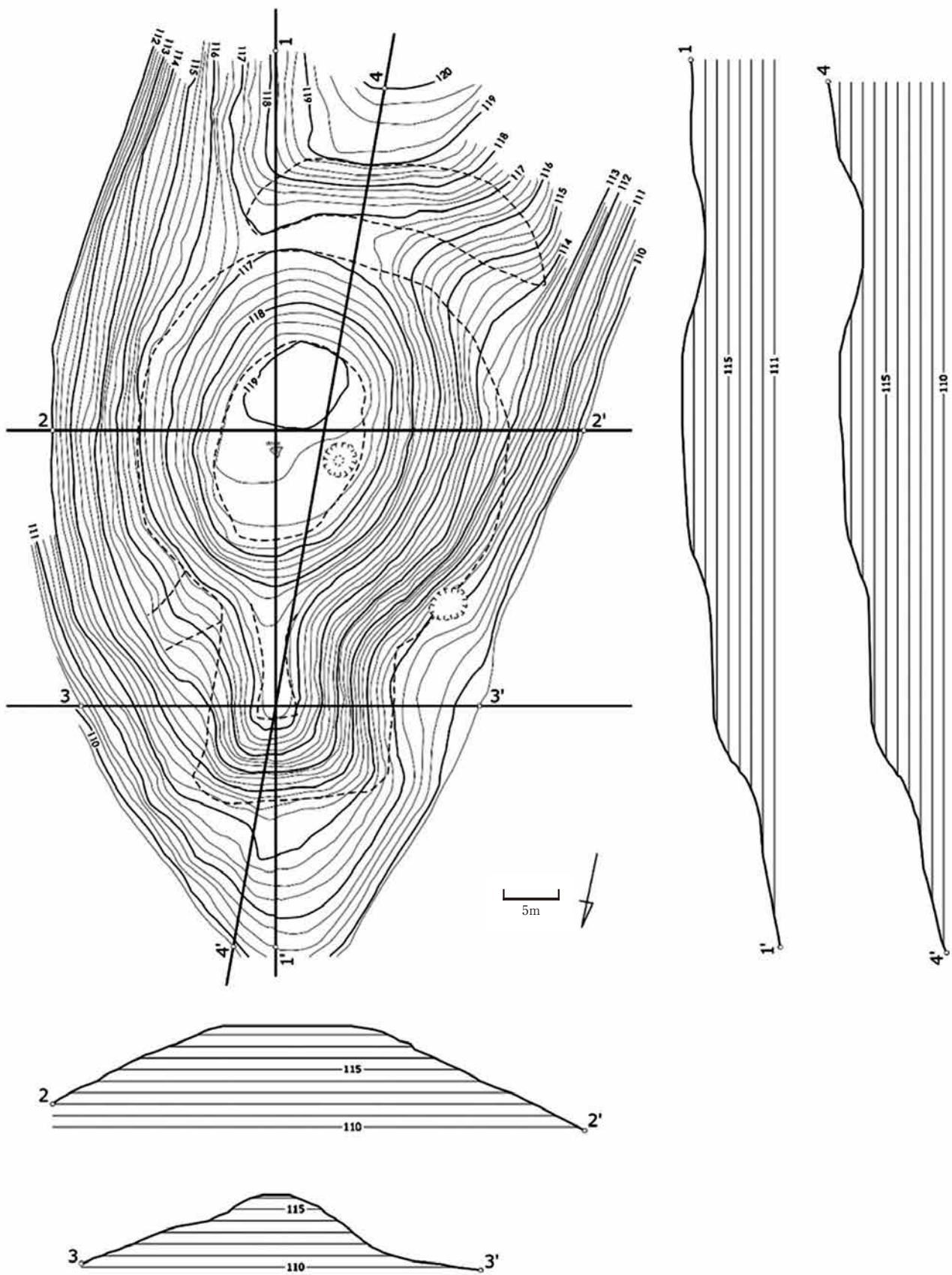
岡田建紀2020「山城探訪愛好者の「角田城古墳」発見記」『新大職組退職者の会会報』No.156（2020-3号）pp.1-2

加藤由美子・竹部佑介・小林ひろ子・安藤正美2014「第Ⅲ章3 長岡・出雲崎地域の海揚がり品」『日本海に沈んだ陶磁器 新潟県内海揚がり品の実態調査』pp.20-32
新潟県海揚がり陶磁器研究会

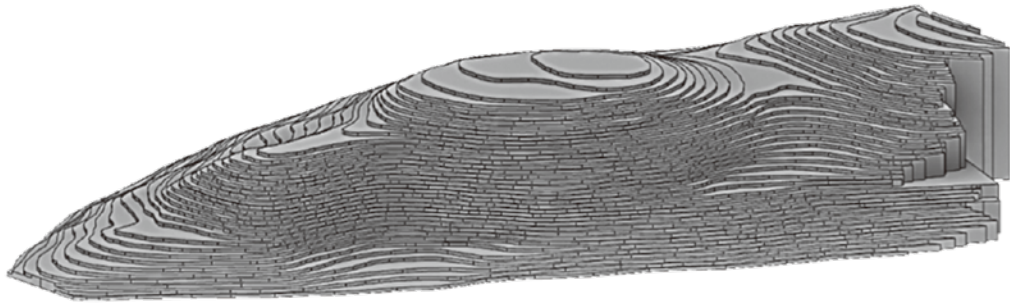
加藤由美子・小林ひろ子・竹部佑介2018「長岡・出雲崎地域で新たに確認された海揚がり品」『長岡市立科学博物館研究報告』第53号 pp.35-38 長岡市立科学博物館

橋本博文2021「新潟市西蒲区角田浜で新発見の前方後円墳について」『新潟県考古学会連絡紙』第128号、p.5、新潟県考古学会

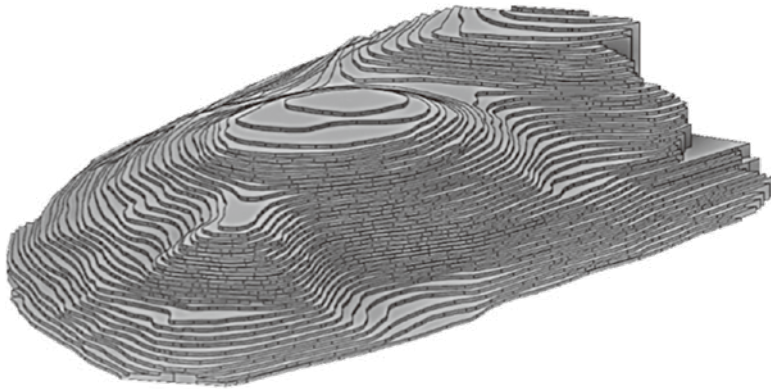
文化財保存新潟県協議会2020『「前方後円墳新発見！一角田浜で、頸城平野で、あなたの町で…」』



角田浜妙光寺山古墳平面図及び断面図



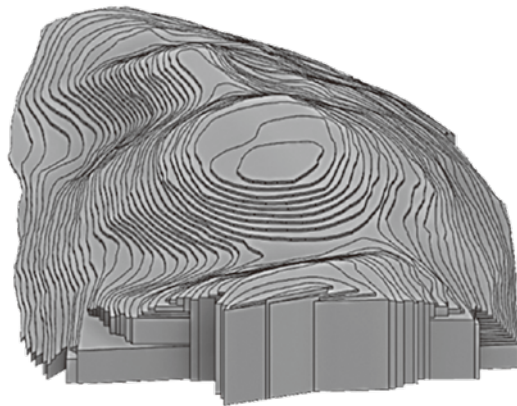
A：西から



B：北西から



C：東から



D：南から

角田浜妙光寺山古墳鳥瞰図（作成：石崎悠人氏）



ジョー山を背景にした古墳の立地（北西方海上から）



ジョー山の眺め（後円部墳頂から）



前方部の眺め（後円部墳頂から）



後円部背後の掘割



前方部の葺石状の並び（南西から）



後円部中央の巨石（画面右側）について、新潟大学災害・復興科学研究所によるレーダー探査を実施した。



前方部裾からの角田岬の眺望（北から）



前方部前端部近景（背後はジョー山）



手前が前方部、奥側が後円部。



手前が前方部、海側から見ると高低差があり、量感が感じられる。



前方部から後円部への眺望（背後にジョー山）



東側くびれ部、後円部寄りの通路状の高まり（白色鎖線）

Ⅲ 資 料

1 国・県・市指定文化財、国登録文化財一覧表

(1) 国・県・市指定文化財（令和3年3月31日現在）

区分	No	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
国	1	有	建	旧笹川家住宅	11棟	S29.3.20 S53.5.31 H3.5.30	南区味方	新潟市	文政年間
国	2	有	建	新潟県議会旧議事堂 附 棟札2枚	1棟	S44.3.12	中央区一番堀通町	新潟県	明治15年
国	3	有	建	旧新潟税関庁舎 附 棟札1枚	1棟	S44.6.20	中央区緑町	文部科学省・新潟市	明治2年
国	4	有	建	種月寺本堂 附 棟札2枚	1棟	H1.9.2	西蒲区石瀬	種月寺	元禄12年
国	5	有	建	萬代橋	1基	H16.7.6	中央区万代から中央区下大川前通・ 中央区川端町間	国土交通省	昭和4年
国	6	有	絵	絹本着色不動明王二童子像	1幅	S27.7.19	中央区沼垂東	法光院	鎌倉後期
国	7	有	彫	木造地藏菩薩半跏像	1軀	S12.5.25	秋葉区小須戸	茂林寺	南北朝期
国	8	有	工	彩磁禽果花瓶 板谷波山作	1口	H18.6.9	中央区東大通	公益財団法人 敦井コレクション	大正15年
国	9	有	書	雪村友梅墨跡梅花詩	1幅	S35.6.9	江南区沢海	一般財団法人 北方文化博物館	南北朝期
国	10	有	考	越後国菖蒲古墳経塚出土品	一括	S37.2.2	中央区柳島町 歴史博物館内	金仙寺・新潟市	平安後期
国	11	民	有民	金刀比羅神社奉納模型和船	28点	S40.6.9	中央区西既島町	金刀比羅神社	江戸後期～明治中期
国	12	記	史	菖蒲塚古墳		S5.4.25	西蒲区竹野町	金仙寺 他・新潟市	古墳前期
国	13	記	史	旧新潟税関		S44.6.20 S55.2.19 H30.10.15	中央区緑町	文部科学省・新潟市	明治2年
国	14	記	史	古津八幡山遺跡		H17.7.14 H23.2.7	秋葉区金津、秋葉区古津、 秋葉区蒲ヶ沢	新潟市 他	弥生～古墳
国	15	記	史	新津油田金津鉱場跡		H30.10.15	秋葉区金津	新潟市 他	明治初期～平成8年
国	16	記	名	旧齋藤氏別邸庭園		H27.3.10	中央区西大畑町	新潟市	大正9年
国	17	記	名	白山公園		H30.10.15	中央区一番堀通町	財務省・新潟市	明治初期
国	18	記	天	鳥屋野逆ダケの藪		T11.10.12	中央区鳥屋野	新潟市 他	
国	19	記	天	月潟の類産ナシ	1本	S16.11.13	南区大別當	個人・新潟市	樹齢約200年
国	20	記	天	ヒシクイ		S46.6.28	新潟県	新潟県	県全域
国	21	記	天	マガン		S46.6.28	新潟県	新潟県	県全域
県	1	有	建	諏訪神社本殿	1棟	S61.3.28	南区味方	味方自治会	慶長15年再建
県	2	有	絵	渭城柳色 大雅筆 附 大雅書「渭城柳色」	1幅	S33.3.22	中央区東大通	公益財団法人 敦井コレクション	延享元年
県	3	有	絵	絹本着色三千仏図	3幅	S44.3.25	中央区沼垂東	法光院	寛正7年
県	4	有	絵	絹本着色慈恩大師像	1幅	S47.3.28	中央区沼垂東	法光院	鎌倉末期
県	5	有	彫	木造菩薩立像	1軀	S27.12.10	中央区西堀通	瑞光寺	平安前期
県	6	有	彫	木造薬師如来坐像	1軀	S41.3.18	東区松崎 薬師庵内	法光院	平安後期
県	7	有	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	S52.3.31	南区白根	西永寺	平安後期
県	8	有	彫	銅造観音菩薩立像	1軀	H21.3.24	西蒲区赤鎗	遍照寺	奈良
県	9	有	彫	木造伝島山重宗夫妻坐像	2軀	H21.3.24	中央区長嶺町	蒲原神社	建武元年
県	10	有	工	太刀（無銘）	1口	S40.4.7	江南区沢海	一般財団法人 北方文化博物館	鎌倉末期
県	11	有	書	南英謙宗墨跡書籍	22冊	S29.2.10	西蒲区石瀬	種月寺	室町後期
県	12	有	書	長善館学塾資料	一括283点	S42.3.25	中央区女池南 県立文書館内	新潟県立文書館	江戸後期
県	13	有	書	桂家国学関係資料	一括508点	S42.3.25	中央区女池南 県立文書館 秋葉区中村	個人	江戸後期
県	14	有	古	堀直奇文書	56点	S39.3.22	西区五十嵐 新潟大学附属図書館内	国立大学法人 新潟大学	江戸初期
県	15	有	古	市島家文書	16,528点	S47.3.28	中央区女池南 県立文書館内	新発田市・ 新潟県立文書館	江戸～昭和期

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
県	16	有	古	渡部家文書	2,582点	H12.3.24	中央区女池南 県立文書館内	個人・ 新潟県立文書館	江戸中期～明治期
県	17	有	考	木崎山出土地鎮具	一括	S59.3.27	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県教育委員会	鎌倉
県	18	有	考	的場遺跡出土品	一括	H8.3.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	奈良・平安
県	19	有	考	五丁歩遺跡出土品	一括1,394点	H13.3.23	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県教育委員会	縄文中期
県	20	有	考	浦廻遺跡出土品	一括2,160点	H16.3.30	西区木場 文化財センター内	新潟市	鎌倉後期
県	21	有	考	上ノ平遺跡・吉ヶ沢遺跡出土品	一括1,103点	H17.3.25	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県教育委員会	後期旧石器時代
県	22	有	考	青田遺跡出土品	一括2,076点	H21.3.24	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	縄文晩期
県	23	有	考	滝寺窯跡群・大貫窯跡群出土品	一括1,012点	H23.3.22	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	平安時代
県	24	有	考	南赤坂遺跡出土品	110点	H25.3.26	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
県	25	有	考	余川中道遺跡出土品	255点	H26.3.25	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	古墳中期～後期
県	26	有	考	六反田南遺跡出土品	1,202点	H31.3.22	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	縄文中期
県	27	有	考	佐渡貝塚群（堂の貝塚）出土人骨	1体	H32.3.27	新潟市中央区旭町通新潟大学旭町 学術資料展示館内	国立大学法人 新潟大学	縄文中期
県	28	有	歴	学塾三餘堂関係資料 附 印章類125類	一括	H9.3.28 H11.3.30	中央区女池南 県立図書館内	新潟県立図書館	江戸～明治
県	29	有	歴	新潟市上水道敷設関係資料	一括258点	H15.3.28	中央区学校町通 歴史文化課内	新潟市	明治中期～昭和初期
県	30	有	歴	亀田町上水道敷設関係資料	一括4点	H15.3.28	江南区茅野山 江南区郷土資料館内	新潟市	昭和初期
県	31	有	歴	新潟奉行川村修就関係資料	1,859点	H25.3.26	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸後期
県	32	有	歴	新潟県近代行政文書	2,465点	H29.3.21	中央区女池南 県立文書館内	新潟県	明治期～大正期
県	33	民	有民	大船給馬	1面	S44. 3.25	中央区一番堀通町	白山神社	嘉永5年
県	34	民	風	越後の風合戦習俗	3	H27.3.24	南区白根・西白根 三条市上須頃 見附市今町・長岡市中之島	白根風合戦協会 三条風協会 今町中之島大風合戦 協会	江戸期
県	35	記	史	的場遺跡		H6.3.29	西区的場流通	稲荷神社・新潟市	奈良～平安
県	36	記	史	緒立遺跡		H6.3.29	西区黒烏字川根湯・西区緒立流通	緒立八幡宮・新潟市	奈良～平安
県	37	記	名	浄専寺庭園		H2.3.30	西蒲区石瀬	浄専寺	文化～文政年間
県	38	記	天	高森の大ケヤキ	1本	S31.3.23	北区高森	稲荷神社・ 高森自治会	樹高m20m、胸高周り10m
県	39	記	天	間瀬枕状熔岩		S36.3.20	西蒲区間瀬	新潟市	
県	40	記	天	八珍柿原木	1本	S37.3.29	秋葉区古田	個人	樹高m16m、胸高周り2m
県	41	記	天	賀茂神社の大ケヤキ	1本	S42.3.25	江南区木津	賀茂神社	高さm9m、胸高周囲6.4m
市	1	有	建	木場八幡宮本殿	1棟	S48.4.15	西区木場	木場八幡宮	江戸
市	2	有	建	阿部家仏間	1棟	S48.4.15	西区黒烏	個人	江戸
市	3	有	建	長徳寺の山門	1棟	S49.3.23	西蒲区横戸	長徳寺	天保9年
市	4	有	建	善養寺の山門	1棟	S49.3.23	西蒲区熊谷	善養寺	文政元年
市	5	有	建	新光寺山門	1棟	S50.10.1	西蒲区高野宮	新光寺	享保年間
市	6	有	建	横越組大庄屋建部尚行の碑	1基	S51.6.20	江南区横越東町	個人	江戸末期
市	7	有	建	諏訪神社本殿	1棟	S53.4.1	西区金巻	諏訪神社	江戸
市	8	有	建	妙蓮寺山門	1棟	S53.4.14	秋葉区東島	妙蓮寺	文政9年
市	9	有	建	満徳寺経堂	1棟	S55.7.16	南区大別當	満徳寺	天保14年
市	10	有	建	福浄寺本堂	1棟	S56.5.25	西区板井	福浄寺	江戸
市	11	有	建	善光寺如来堂	1棟	H8.10.16	西蒲区善光寺	善光寺	明和8年
市	12	有	建	愛宕神社 本殿・拝殿	2棟	H13.11.13	中央区古町通	愛宕神社	18世紀
市	13	有	建	法淳寺本堂	1棟	H13.11.13	北区濁川	法淳寺	17世紀末期
市	14	有	建	真光寺太子堂	1棟	H13.11.13	江南区松山	真光寺	安永7年
市	15	有	建	復原 澤将監の館 母屋・土蔵・表門	3棟	H16.1.20	西蒲区打越甲	新潟市	平成6年復原
市	16	有	建	旧小澤家住宅 主屋・新座敷・離れ座敷他	7棟	H18.8.24	中央区上大川前通	新潟市	明治前期 (明治末期増改築)
市	17	有	絵	絹本着色地藏菩薩像	1幅	S37.3.29	西蒲区巻甲	安養寺	平安
市	18	有	絵	絹本着色不動明王二童子像	1幅	S38.3.28	西蒲区巻甲	個人	室町

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	19	有	絵 (書)	大黒天図 五十嵐凌明筆 竹内式部賛	1幅	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸中期
市	20	有	絵	五十嵐凌明筆 三十六歌仙図 扁額	1面	S49.11.3	中央区西大畑町 新潟大神宮内	新潟大神宮	江戸中期
市	21	有	絵	願如上人親鸞聖人絵像裏書	2巻	S50.9.16	西蒲区曽根	個人	江戸初期
市	22	有	絵	行田魁庵筆 「新潟入船之図」	1幅	S51.11.2	中央区柳島町 歴史博物館内	個人・新潟市	明治4年
市	23	有	絵	五姓田芳柳筆 「新潟萬代橋」図	1幅	S53.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明治21年
市	24	有	絵	宗賢寺歴世住職肖像画	19幅	S54.2.9	江南区横越東町	宗賢寺	元文4年
市	25	有	絵	本間家惣震恣鑑（文政地震画帖）	1冊	S55.3.22	秋葉区市之瀬	個人	文政11年以降
市	26	有	絵	長井雲坪筆 四季山水図 六曲屏風	1双	S55.11.1	中央区柳島町 歴史博物館内	個人・新潟市	明治25年
市	27	有	絵	山論裁定絵図と山論関係記録	絵図4面 記録21点	S56.5.27	秋葉区金津	個人	元禄年間
市	28	有	絵	普談寺絵馬	2枚 (1対)	S57.2.17	秋葉区朝日	普談寺	江戸初期
市	29	有	絵	五姓田芳柳筆 八木朋直肖像	1幅	S57.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明治20年
市	30	有	絵	五姓田芳柳筆 鈴木長蔵肖像	1面	S57.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明治18年
市	31	有	絵	五姓田芳柳筆 帆檣成林	1面	S57.11.3	中央区礎町通	個人	明治
市	32	有	絵	書画帖	3冊	H3.3.18	秋葉区新保	個人	安政3年
市	33	有	絵	絵馬（頼光入山の図・虎と松・三十六歌仙）	3点	H5.8.1	江南区東本町	亀田諏訪社	江戸
市	34	有	絵	味方諏訪神社 献詠詩歌	3点	H8.12.26	南区味方	味方自治会	寛延4 年
市	35	有	彫	木造阿弥陀如来立像	1躯	S37.3.29	西蒲区潟頭	個人	平安
市	36	有	彫	木造角海浜聖観世音菩薩像	1躯	S42.3.30	西蒲区五ヶ浜	新潟市・ 五ヶ浜自治会	江戸
市	37	有	彫	聖観音像	1躯	S48.3.30	西蒲区茨島	茨島観音講	元文期以前
市	38	有	彫	木造地藏菩薩立像	1躯	S50.2.24	南区庄瀬	潮山寺	16世紀後半
市	39	有	彫	三十三観音像	33躯	S50.10.1	西蒲区打越	浦川講中	承応元年
市	40	有	彫	天正の狛犬	1対	S50.10.1	西蒲区打越	浦川講中	不明
市	41	有	彫	善養寺の阿弥陀如来像	1躯	S55.4.1	西蒲区熊谷	善養寺	平安
市	42	有	彫	木造阿弥陀如来立像	1躯	S55.7.16	南区上曲通	梵行寺	室町初期
市	43	有	彫	木造聖観音菩薩立像	1躯	S58.3.22	江南区横越上町	観音小路氏子中	室町
市	44	有	彫	地藏菩薩像	1躯	S61.9.17	江南区砂山	砂崩地藏講	江戸初期
市	45	有	彫	亀田八景 版木	5枚	H5.8.1	江南区茅野山 江南区郷土資料館内	新潟市	弘化4年
市	46	有	彫	善光寺如来堂本尊	3躯	H8.10.16	西蒲区善光寺	善光寺区長	室町～江戸期
市	47	有	彫	光明院木造薬師如来像	1躯	H14.3.26	江南区木津	光明院	平安～鎌倉期
市	48	有	彫	木造如来座像	1躯	H14.12.25	西蒲区岩室温泉	岩室どん坂 阿弥陀講中	鎌倉後期～南北朝前期
市	49	有	彫	木造聖観音坐像	1躯	H30.3.14	西蒲区竹野町	金仙寺	鎌倉末期
市	50	有	工	古瀬戸鉄釉瓶子	1口	S36.3.16	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	鎌倉末期
市	51	有	工	誕生釈迦仏立像	1躯	S45.4.1	西区板井	個人	不明
市	52	有	工	刀装エノ拵え	1点	S47.3.30	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	不明
市	53	有	工	鰐口 貞治七戊申年銘 附 天保十一年丹羽思亭拓本識語1幅	1口	S51.11.2	中央区沼垂東	沼垂白山神社	貞治7年
市	54	有	工	刀剣	2振	S52.3.22	南区西白根	個人	桃山期
市	55	有	工	赤絵花菱唐草文灯籠	1対	S58.3.31	北区太子堂	上宮社・ 太子堂自治会	明治
市	56	有	工	武者絵深鉢	1点	S58.3.31	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治
市	57	有	工	鍍金装笈	1点	H7.9.12	西蒲区石瀬	青龍寺	室町末期
市	58	有	工	山崎興野地内出土の懸仏	2躯	H17.2.9	南区下山崎・南区山崎興野	個人	室町～戦国期
市	59	有	工	色絵金彩梅鶯松蟬図花瓶	2点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治
市	60	有	工	染付藻魚図平鉢	1点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治
市	61	有	書	良寛書 双幅「いろは・一二三」	2幅	S35.2.12	西蒲区松野尾	個人	江戸
市	62	有	書	良寛書 振仮名付十大願文	1巻	S37.3.29	西蒲区巻甲	個人	江戸
市	63	有	書	日寿筆 祖書綱要冊略稿本	7冊	S38.3.30	西蒲区角田浜	妙光寺	江戸

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	64	有	書	懐旧歳時記	2冊	S41.3.29	西蒲区巻甲	個人	明治9年
市	65	有	書	良寛書 長谷川家法名	1幅	S42.3.30	西蒲区角田浜	個人	江戸
市	66	有	書	松丘立生詩歌集	1冊	S43.3.8	西蒲区巻甲	個人	江戸期
市	67	有	書	館柳湾遺品（書翰・印刻・看板・墨書）	一括	S45.3.27	東区河渡	株式会社養玲社	江戸期
市	68	有	書	水沢新田村御検地帳並に古文書	一括	S48.3.30	西蒲区三方 湯東歴史民俗資料館内	新潟市	承応年間～明治10年
市	69	有	書	下大原村御検地帳並に地図	一括	S48.3.30	西蒲区三方 湯東歴史民俗資料館内	新潟市	享保11年
市	70	有	書	白根紙鷺合戦見聞記	1巻	S48.4.12	南区白根	個人	弘化4年
市	71	有	書	竹内式部書 「松」一字 五言対句	1幅	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸中期
市	72	有	書	竹内式部書 一行 白圭之玷云々	1幅	S49.11.3	中央区西大畑町	個人	江戸中期
市	73	有	書	竹内式部筆 三宅島流人罪名帳 断簡	1枚	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明和4年
市	74	有	書	五之上村御検地帳 御米印帳	2冊	S51.3.9	西蒲区五之上	個人	慶安2年、慶応4年
市	75	有	書	蓮徳寺一切経	1,160冊	S53.4.14	秋葉区西島	蓮徳寺	寛文年間
市	76	有	書	獅子踊り歌詞秘書	5巻	S55.3.22	秋葉区日宝町 新津図書館内	小戸下組獅子保存会・ 新潟市	文化10年
市	77	有	書	万福寺九世悦巖素圻遺墨	5点	S61.3.28	西蒲区仁箇	万福寺	江戸
市	78	有	書	亀田鵬斎書 山茶之亭扁額	1面	S61.3.28	西蒲区松野尾	個人	文化7年
市	79	有	書	小須戸町屋舗絵図	1枚	H3.3.18	秋葉区小須戸	個人	文政9年
市	80	有	書	本住寺棟札	7枚	H3.3.18	秋葉区横川浜	本住寺	永祿元年
市	81	有	書	小泉蒼軒文庫	一括	H5.1.20	秋葉区日宝町 新津図書館内	個人・新潟市	江戸末期
市	82	有	書	真宗本山講中「御書」	3巻	H5.12.14	西蒲区打越甲 澤将監の館内	打越婦人講 他・ 新潟市	文政8年
市	83	有	書	香月堂鶯宿関係資料 (盛弘社芭蕉講軸物ほか)	19種	H6.2.18	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	大正～昭和5年
市	84	有	書	香月堂鶯宿関係資料 (山口嵐更半折ほか)	4点	H6.2.18	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	大正～昭和5年
市	85	有	書	年中故事	6冊	H6.3.30	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	弘化3～慶応2年
市	86	有	書	良寛書 有則堂	1幅	H6.3.30	西蒲区角田浜	願正寺	江戸
市	87	有	書	巻菱湖筆 司空表聖詩品二十四章	2帖	H11.9.29	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸
市	88	有	書	武田信玄・勝頼の感状	1幅（2点）	H16.1.20	西蒲区打越甲 澤将監の館内	個人・新潟市	16世紀
市	89	有	書	有願筆の屏風・掛軸	28点	H17.2.9	南区新飯田ほか	個人	江戸末期
市	90	有	古	慶長五年巻村検地帳	1冊	S36.3.16	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	慶長5年
市	91	有	古	越前国小橋屋村御検地帳	1冊	S38.3.30	西蒲区巻甲	個人	慶長3年
市	92	有	古	慶安三年蒲原郡松尾村人御改帳	1冊	S43.3.8	西蒲区松山新田	個人	慶安3年
市	93	有	古	笛木家文書	400点	S44.3.15	西蒲区中郷屋	個人	江戸
市	94	有	古	籠島黒印状	1幅	S40.3.24	西蒲区巻甲	城願寺	天正18年
市	95	有	古	延宝三年乙卯・ 地境出入御裏書絵図並に附帯文書 1通	1巻	S48.3.30	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸
市	96	有	古	倉嶋家文書	677点	S48.6.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	江戸～
市	97	有	古	年貢割付状及普済目録	181通	S50.9.16	西蒲区真田	個人	江戸～明治初期
市	98	有	古	承応3年～明治初年庄屋文書	269通	S52.3.4	西蒲区善光寺	個人	江戸～明治初期
市	99	有	古	真柄家石油関係資料	70点	S53.4.14	秋葉区柄目木・ 秋葉区日宝町 新津図書館内	個人・新潟市	慶長18年～明治33年
市	100	有	古	澤田家能代川堰関係資料	26点	S53.4.14	秋葉区草水町	個人	天正8年～昭和16年
市	101	有	古	土屋家文書	607点	S54.2.27	西蒲区西込上	個人	江戸～明治中期
市	102	有	古	黒島村諸色書上帳	1冊	S54.4.1	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸
市	103	有	古	高橋（武田）源助の書簡	1通	S54.4.1	西区木場	個人	江戸
市	104	有	古	小山家所蔵古文書	58点	S57.7.21	西区大野町	個人	江戸
市	105	有	古	梨柴造育秘鑑及び証文	1式	H2.6.28	南区東萱場	個人	天明2年
市	106	有	古	石井家文書	88点	H5.5.27	江南区沢海	一般財団法人 北方文化博物館	江戸～明治期
市	107	有	古	割野新田開発許可状	1枚	H5.8.1	江南区茅野山 江南区郷土資料館内	個人	寛永13年
市	108	有	古	越前浜村立許可状	1枚	H6.3.30	西蒲区巻甲	個人	慶長16年

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	109	有	古	澤家文書	552点	H16.1.20	西蒲区中之口 中之口先人館内	新潟市	江戸～大正
市	110	有	古	寛政二庚戌年福島潟絵図	1点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	照善寺 新潟市 (北区郷土博物館)	寛政2年
市	111	有	考	布日遺跡出土尖底深鉢形土器	1個	S38.3.30	東京国立博物館	個人	縄文前期
市	112	有	考	自然釉甕	1個	S41.3.29	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	竹野町地区所有 新潟市	鎌倉末期
市	113	有	考	緒立土器	一括	S47.3.30	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文～中世
市	114	有	考	五ヶ浜須恵器甕	1個	S51.3.9	西区木場 文化財センター内	五ヶ浜地区所有 新潟市	平安
市	115	有	考	中才遺跡出土品	一括	S52.3.4	西区木場 文化財センター内	新潟市	平安
市	116	有	考	市内遺跡出土品	72点	S58.3.31	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	縄文～平安
市	117	有	考	鳥屋遺跡発掘調査出土品	一括	S59.4.1	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文
市	118	有	考	上黒山遺跡出土品	一括	S59.4.1	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	縄文～古墳
市	119	有	考	本町中世石仏	1体	H5.1.20	秋葉区新津本町	福王寺	中世
市	120	有	考	大鹿諏訪神社中世石仏	1体	H5.1.20	秋葉区大鹿	諏訪神社	中世
市	121	有	考	盛岩寺中世石仏	3体	H5.1.20	秋葉区大安寺	盛岩寺	中世
市	122	有	考	馬場屋敷遺跡出土品	3,017点	H5.7.14	西区木場 文化財センター内	新潟市	鎌倉後期
市	123	有	考	的場遺跡出土品（県指定分は除く）	一括	H5.11.3	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文～中世
市	124	有	考	笹山前遺跡出土縄文時代の深鉢形土器	1点	H10.3.24	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	縄文
市	125	有	考	新谷遺跡出土浅鉢形土器	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文前期
市	126	有	考	南赤坂遺跡出土「の」字状垂飾	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文前期～中期
市	127	有	考	大沢遺跡出土中期前葉縄文土器	12点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文中期
市	128	有	考	上ノ原遺跡採集石棺	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	個人・新潟市	縄文後期
市	129	有	考	上ノ原遺跡出土「深靴」土偶	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文後期
市	130	有	考	御井戸遺跡出土縄文時代木製品	9点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文晩期
市	131	有	考	山谷古墳出土品	一括	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
市	132	有	考	南赤坂遺跡出土古墳時代北方系土器 (県指定分は除く)	一括	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
市	133	有	考	前平野窯跡出土須恵器	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	平安
市	134	有	考	沙山遺跡出土中世釣針	一括	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	室町
市	135	有	考	葛塚遺跡出土朱塗り線刻物画土器	1個体	H14.3.8	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
市	136	有	歴	検見櫓	1脚	S38.3.28	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸
市	137	有	歴	豊栄市役所文書	6,834点	S46.8.30 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	江戸～
市	138	有	歴	佐藤家文書	3,112点	S46.8.30 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	江戸～明治初期
市	139	有	歴	六灯ランプ (旧新潟税関使用シャンデリア)	1基	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	東京税関・新潟市	19世紀中期
市	140	有	歴	浦高札	2枚	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	個人・新潟市	明治2年
市	141	有	歴	松平忠輝関係文書	2通	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	慶長15年
市	142	有	歴	堀直奇文書	4通	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	元和2～3年
市	143	有	歴	沢海日枝神社の大幟	1組	S51.6.20	江南区沢海	日枝神社・ 北方文化博物館	文政8年
市	144	有	歴	鮎屋看板 良寛書刻字	5枚	S51.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸後期
市	145	有	歴	横越島絵図	1枚	S53.11.3	江南区割野	個人	寛永16年
市	146	有	歴	門田ハザ並木	1個所	S58.2.18	西蒲区門田	新潟市	
市	147	有	歴	片柳礼三の碑（墓）	1基	S58.2.18	西蒲区羽黒	新潟市	明治4年
市	148	有	歴	小杉八幡宮の大幟	1組	S63.4.12	江南区小杉	八幡宮	文政8年
市	149	有	歴	卯八郎請の御領の旗	1流	H1.7.20	西蒲区三方 潟東歴史民俗資料館内	新潟市	宝暦3年
市	150	有	歴	朝日本多家の双芳碑	1基	H5.1.20	秋葉区朝日	個人	明治40年
市	151	有	歴	秋葉神社の祈禱碑	1基	H5.1.20	秋葉区秋葉	秋葉神社	寛政11年
市	152	有	歴	笹川家平十郎宅絵図面	1枚	H5.5.31	南区味方 曾我平澤記念館内	新潟市	不明

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	153	有	歴	俳諧三祖塔	1組 (3基)	H5.7.6	秋葉区中村	個人	寛政5年
市	154	有	歴	北辰隊関係資料	132点	H9.3.31 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治元年
市	155	有	歴	木崎小作争議関係資料	675点	H9.3.31 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	大正後期
市	156	有	歴	浄福寺法宝物	26点	H11.9.29	西蒲区竹野町	浄福寺	鎌倉～安土桃山期
市	157	有	歴	萬巻様の額、聯、萬巻楼記	3点	H14.9.10	秋葉区中村	個人	江戸
市	158	有	歴	家相図	1枚	H16.1.20	西蒲区打越甲 澤将監の館内	個人・新潟市	江戸後期
市	159	有	歴	旧鎧郷村道路元標・旧曾根村道路元標	2基	H16.6.4	西蒲区天竺堂・西蒲区曾根	新潟県	大正11年以降
市	160	有	歴	旧升湯村道路元標	1基	H16.6.4	西蒲区大湯	新潟市	大正11年以降
市	161	有	歴	曾根村道図	1軸	H16.6.4	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	昭和22年
市	162	有	歴	鎧郷村道路線調査及び鎧郷村道図 (大字別)	1式	H16.6.4	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	大正9年
市	163	有	歴	曾根郷耕地整理組合第一区整理略図	1軸	H16.7.30	西蒲区曾根	個人	昭和25年
市	164	有	歴	横田切れの記録（腰板）	1枚	H17.2.25	西蒲区三方 湯東歴史民俗資料館内	新潟市	明治29年
市	165	有	歴	下興野新田絵図	4点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	享保～・明治
市	166	有	歴	綿向神社勧請石柱	1点	H17.3.18	北区内沼	内沼神社	元文元年
市	167	無	芸	日本舞踊市山流		H15.7.16	中央区古町通	市山七十郎	江戸後期～
市	168	無	工技	白根紋り		H5.7.14	南区白根	サークルしろね紋り	江戸後期～
市	169	民	有民	民家旧宅（旧武田家住宅）	1棟	S45.4.1	西区木場 文化財センター内	新潟市	江戸
市	170	民	有民	篠原幸三郎家住宅	1棟	S46.3.23	西蒲区五ヶ浜	新潟市	明治初期、昭和53年移築
市	171	民	有民	せんば	1点	S47.3.30	西区木場 文化財センター内	新潟市	不明
市	172	民	有民	湊稲荷神社願懸け高麗犬	1対	S55.11.1	中央区稲荷町	湊稲荷神社	嘉永7年
市	173	民	有民	満願寺稲架木並木	1箇所	S57.2.17	秋葉区満願寺	満願寺集落26名・ 新潟市	
市	174	民	有民	金刀比羅神社難船彫刻絵馬	1面	S59.11.3	中央区寄合町	金刀比羅神社	明治30年
市	175	民	有民	伊多井神社の天井絵	1面	S61.5.1	西区板井	伊多井神社	慶応3年
市	176	民	有民	のぞきからくり	一括	S62.3.27	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	個人・新潟市	大正
市	177	民	有民	高札（基利支丹札）	1点	H3.4.1	西区木場 文化財センター内	新潟市	江戸中期
市	178	民	有民	松前藩主薬箱	1点	H3.4.1	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸
市	179	民	有民	畜動舎	1棟	H3.7.22	西区木場 文化財センター内	新潟市	
市	180	民	有民	角兵衛地藏尊	2躯	H4.12.10	南区月湯	月湯地区	江戸初期
市	181	民	有民	箆箱・箆棒	1個・23本	H5.2.20	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	万延2年
市	182	民	有民	福島潟民俗資料	442点	H9.3.31 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	
市	183	民	有民	越後毒消しコレクション	一括	H11.9.29	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸末期～昭和期
市	184	民	有民	鰻湯で使用されていた漁労・狩猟用具	50点	H17.2.25	西蒲区三方 湯東歴史民俗資料館内	新潟市	明治～昭和期
市	185	民	民芸	内沼獅子舞	1	S38.1.12	北区内沼	内沼獅子舞保存会	享保期以降～
市	186	民	民芸	内島見の神楽	1	S38.1.12	北区内島見	内島見神楽保存会	明治初期～
市	187	民	民芸	高森の神楽	1	S38.1.12	北区高森	高森いざや神楽保存会	宝永年間～
市	188	民	民芸	他門の神楽	1	S38.1.12	北区葛塚	他門神楽保存会	宝暦年間～
市	189	民	民芸	嘉山の神楽	1	S38.1.12	北区嘉山	嘉山神楽保存会	寛政から文政年間～
市	190	民	民芸	葛塚盆踊	1	S38.1.12	北区葛塚	豊栄郷土民謡保存会	明治中期～
市	191	民	民芸	正尺の神楽	1	S40.7.15	北区葛塚	正尺神楽保存会	天保年間～
市	192	民	民芸	長場の神楽	1	S38.1.12	北区長場	長場神楽保存会	明治中期～
市	193	民	民芸	和納三社神社祭礼行事	7	S43.9.12 S50.2.22 H15.3.12	西蒲区和納	和納三社神社氏子	花火：天保年間～ 棒遣い：大正年間～
市	194	民	民芸	竹野町神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区竹野町	竹野町神楽舞保存会	文化から文政年間～
市	195	民	民芸	巻神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区巻甲	巻神楽保存会	江戸期～
市	196	民	民芸	稲島神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区稲島	稲島神楽保存会	江戸期～

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	197	民	民芸	松山神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区松山	松山神楽保存会	明治39年～
市	198	民	民芸	松野尾神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区松野尾	松野尾神楽舞保存会	起源不詳、昭和31年再興
市	199	民	民芸	棒踊り	1	S45.4.1	西区本場	黒埼地区郷土芸能保存会本場支部	
市	200	民	民芸	河井神楽舞	1	S50.4.25	西蒲区河井	河井神楽保存会	明治初期～
市	201	民	民芸	布目神楽舞	1	S50.4.25	西蒲区布目	布目神楽保存会	江戸～、昭和43年再興
市	202	民	民芸	国見神楽舞	1	S51.3.9	西蒲区国見	国見南地区自治会	江戸～、大正期復活
市	203	民	民芸	潟頭神楽舞	1	S51.6.5	西蒲区潟頭	潟頭神楽舞保存会	明治初期～
市	204	民	民芸	小戸下組獅子踊り	1	H51.2.0	秋葉区小戸下組	小戸下組獅子保存会	文化年間～
市	205	民	民芸	赤鎗神楽舞	1	H53.3.0	西蒲区赤鎗	赤鎗神楽舞保存会	
市	206	民	民芸	白根の獅子舞	1	H16.4.6	南区白根魚町	魚町神楽連	18世紀初期
市	207	民	民芸	角兵衛獅子	1	H25.4.15	南区月潟	角兵衛獅子保存会	江戸中期
市	208	記	史	上城跡		S35.2.12	西蒲区竹野町	新潟市	室町
市	209	記	史	下城		S35.2.12	西蒲区竹野町	新潟市 他	室町
市	210	記	史	館ノ腰		S36.3.16	西蒲区馬堀	白山神社	室町
市	211	記	史	巻館跡		S40.3.24 S57.3.26	西蒲区巻甲	新潟市	室町
市	212	記	史	天神山城址		S43.9.12	西蒲区石瀬・岩室温泉・間瀬	個人	室町
市	213	記	史	松岳山城址		S43.9.12	西蒲区岩室温泉	和納	室町
市	214	記	史	樋切遺跡		S48.3.30	西蒲区五之上	個人	弥生～平安
市	215	記	史	間瀬銅山跡	7	S49.6.1	西蒲区間瀬	新潟市	江戸～大正9年
市	216	記	史	煮坪	1箇所	S50.9.4	秋葉区草水町	個人・新潟市	慶長13年
市	217	記	史	幸清水	1箇所	S50.12.2	秋葉区秋葉	新潟市	文化4年
市	218	記	史	上ノ原遺跡		S51.3.9	西蒲区竹野町	竹野町 他	縄文後期～晩期
市	219	記	史	山谷古墳		S60.1.30	西蒲区福井	個人	古墳前期
市	220	記	史	東島城跡	1箇所	S60.3.4	秋葉区東島字城ヶ平	新潟市 他	中世
市	221	記	史	桜清水	1箇所	S61.1.14	秋葉区中村	那加武良神社	弘安元年
市	222	記	史	八幡山遺跡群	1群	H51.2.0	秋葉区古津字八幡腰ほか	新潟市	縄文～平安
市	223	記	史	ひさかき清水	1箇所	H51.2.0	秋葉区田家	妙本寺	享保年間
市	224	記	史	手掘石油井戸	1箇所	H51.2.0	秋葉区田家字山親割	新潟市	明治10年頃
市	225	記	史	馬堀用水遺跡		H8.11.28	西蒲区馬堀	個人	馬堀用水・長恩院石塔 江戸
市	226	記	名	判官舟かくし	1箇所	S42.3.30	西蒲区角田浜	角田浜	海蝕洞
市	227	記	天	水芭蕉自生地	1箇所	S35.2.12	西蒲区仁箇	個人	
市	228	記	天	行人塚の大櫨	1本	S39.7.23	西蒲区熊谷	島方集落会	樹高13.5m、胸高周囲6.4m
市	229	記	天	稲島の椿谷自然林	1箇所	S44.3.15	西蒲区稲島	稲島	
市	230	記	天	稲島の大杉	1本	S44.3.15	西蒲区稲島	稲島	樹高22m、胸高周囲6m
市	231	記	天	ばしくるもん、つぼくさ		S47.2.26	西蒲区間瀬	新潟市	
市	232	記	天	旧入徳館小のたぶの木	1本	S48.3.30	西蒲区峰岡	新潟市	樹高7m、胸高周囲4.1m 樹齢約200年
市	233	記	天	上堰潟	1箇所	S49.3.23	西蒲区松野尾	国・新潟市	
市	234	記	天	山口家の大たぶの木	1本	S49.3.23	西蒲区山口新田	個人	樹高15m、胸高周囲3m
市	235	記	天	コウヤマキ（高野槇）	1本	S50.7.12	江南区藤山	個人	樹高20m、胸高周囲3.4m
市	236	記	天	スタジイ（しいの木）	1本	S51.3.9	西蒲区松野尾	仙城院	樹高10.5m、胸高周囲4.6m
市	237	記	天	曾根神社境内大櫨	1本	S54.2.27	西蒲区曾根	曾根神社	樹高20m、胸高周囲4.3m
市	238	記	天	大壑	1本	S57.12.24	西蒲区曾根 曾根小学校内	新潟市	樹高6m、胸高周囲1.8m
市	239	記	天	長周寺の老姫小松	1本	H17.2.0	西蒲区大原	長周寺	樹高4.7m、胸高周囲2m
市	240	記	天	長沼家の老五葉松	1本	H17.2.0	西蒲区称名	個人	樹高5.6m、胸高周囲5.6m
市	241	記	天	百日紅（サルスベリ）	1本	H19.8	南区大郷	個人	樹高11m、胸高周囲1.9m

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	242	記	天	普談寺の大杉	1本	H5.1.20	秋葉区朝日	普談寺	樹高30m、胸高周囲5.3m
市	243	記	天	真柄家の大樺	1本	H5.1.20	秋葉区柄目木	個人・新潟市	樹高16m、胸高周囲7.8m
市	244	記	天	福王寺の大赤檜	1本	H5.1.20	秋葉区山谷町	福王寺	樹高15m、胸高周囲2.9m
市	245	記	天	小戸の大花梨	1本	H5.1.20	秋葉区小戸下組	個人	樹高12m、胸高周囲1.8m
市	246	記	天	北潟の大譲葉	1本	H5.1.20	秋葉区北潟	個人	樹高13m、胸高周囲2.1m
市	247	記	天	子成場柿	1本	H5.1.20	秋葉区浦興野	個人	樹高11m、胸高周囲1.7m
市	248	記	天	石崎家の紅梅	1本	H5.1.20	秋葉区新津本町	個人	樹高9m、胸高周囲2.4m
市	249	記	天	大四手叢林	1箇所	H5.1.20	秋葉区金津	佐久那殿神社	樹齢約100～200年
市	250	記	天	椿林	1箇所	H5.1.20	秋葉区朝日	個人	樹齢50～300年
市	251	記	天	らかんまき 外	5本	H6.4.1	江南区荻曾根	個人	樹高9m（らかんまき）
市	252	記	天	つばき	1本	H6.4.1	江南区袋津	個人	胸高周囲1.5m
市	253	記	天	かや	1本	H6.4.1	江南区城山	個人	胸高周囲1.9m
市	254	記	天	大久保の大ケヤキ	1本	H12.5.26	北区大久保	神明社・大久保自治会	樹高24m、胸高周囲6.5m
市	255	記	天	お杉	1本	H15.11.12	西蒲区石瀬	新潟市	樹高22m、胸高周囲6.4m
市	256	記	天	大杉	1本	H16.8.11	西蒲区樋曾	日吉神社	樹高36m、胸高周囲6.1m
市	257	記	天	大樺	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	石瀬神社	樹高42m、胸高周囲5.2m
市	258	記	天	羅漢楨	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	青龍寺	樹高11.5m、胸高周囲2.7m
市	259	記	天	銀木犀	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	種月寺	樹高7m、胸高周囲1.5m
市	260	記	天	多宝山の樺	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	個人	樹高20m、胸高周囲2.9m
市	261	記	天	ご神木 樺	1本	H16.8.11	西蒲区和納	八幡神社（三社神社）	樹高8.5m、胸高周囲7.4m

凡 例 「種別欄」は、() 内の略号で表記
有形文化財 建造物（建）、絵画（絵）、彫刻（彫）、工芸品（工）、書跡・典籍（書）、古文書（古）、考古資料（考）、歴史資料（歴）
無形文化財 芸能（芸）、工芸技術（工技）
民俗文化財 有形民俗文化財（有民）、無形民俗文化財の民俗芸能（民芸）、無形民俗文化財の風俗慣習（風）、無形民俗文化財の民俗技術（民技）
記 念 物 史跡（史）、名勝（名）、天然記念物（天）

【参考】

令和2年度に県指定文化財「鼈龍鏡（越後国菖蒲塚古墳出土）」が東京国立博物館の所蔵となった。
これにより上記一覧表及び件数からは除外したが、市内所在の菖蒲塚古墳からの出土品であり、県指定は維持されている。

(2) 新潟市所在の国登録文化財一覧表（令和3年3月31日現在）

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
国	1	有	建	新津記念館	1棟	H10.4.21	中央区旭町通	公益財団法人新津記念館	昭和13年
国	2	有	建	北方文化博物館 主屋・大広間ほか	26棟	H12.4.28	江南区沢海	一般財団法人北方文化博物館	明治20年
国	3	有	建	太古山日長堂 主屋・仏蔵	2棟	H12.4.28	北区新崎	一般財団法人太古山日長堂	18世紀中期
国	4	有	建	佐野商店 店舗兼住宅	1棟	H12.4.28	中央区沼垂東	個人	昭和12年
国	5	有	建	二宮家住宅 主屋・農舎	2棟	H12.4.28	江南区俵柳	個人	大正7年
国	6	有	建	斎藤家住宅 主屋・土蔵	2棟	H12.4.28	中央区関屋本村町	株式会社斎藤不動産	明治初期
国	7	有	建	樋木酒造 店舗兼主屋・西・東酒蔵	3棟	H12.4.28	西区内野町	公益財団法人鶴友会	20世紀初期
国	8	有	建	木揚場教会	1棟	H12.4.28	中央区礎町通	木揚場教会	大正15年
国	9	有	建	行形亭 主屋ほか	10棟	H12.4.28	中央区西大畑町	株式会社行形亭	19世紀中期
国	10	有	建	鍋茶屋 主屋ほか	7棟	H12.4.28	中央区東堀通	合資会社鍋茶屋	明治43年
国	11	有	建	燕喜館（旧斎藤家住宅） 主屋	1棟	H12.4.28	中央区一番堀通町	新潟市	明治41年
国	12	有	建	北方文化博物館新潟分館 主屋・洋館ほか	7棟	H12.4.28	中央区南浜通	一般財団法人北方文化博物館	明治28年頃
国	13	有	建	諸橋家住宅 主屋・土蔵	2棟	H13.11.20	江南区茗荷谷	個人	大正10年頃
国	14	有	建	飯田家住宅土蔵	1棟	H14.8.21	西区内野町	個人	明治22年
国	15	有	建	吉田家住宅 主屋・座敷棟・土蔵	3棟	H15.1.31	秋葉区大鹿	個人	明治16年
国	16	有	建	大橋屋 主屋及び土蔵	1棟	H15.7.1	中央区本町通	個人	昭和10年
国	17	有	建	亀田町上水道高架水槽	1棟	H15.7.1	江南区亀田水道町	新潟市	昭和8年
国	18	有	建	高島屋 主屋・土蔵・旧米蔵	3棟	H16.7.23	西蒲区岩室温泉	個人	宝暦5年
国	19	有	建	新潟大学 旭町学術資料展示館ほか	2棟	H17.11.10	中央区旭町通	国立大学法人新潟大学	昭和4年
国	20	有	建	旧第四銀行住吉町支店	1棟	H17.11.10	中央区柳島町	新潟市	昭和2年
国	21	有	建	妙光寺 三重小塔・山門・鐘楼	3棟	H18.3.2	西蒲区角田浜	妙光寺	18世紀後期
国	22	有	建	小林家住宅 主屋	1棟	H18.3.27	中央区南毘沙門町	個人	昭和13年
国	23	有	建	石本家住宅 主屋ほか	6棟	H19.12.5	江南区東本町	個人	明治34年～昭和初期
国	24	有	建	内島見 観音堂・仁王堂	2棟	H19.12.5	北区内島見	宗教法人養福寺	元治2年・明治34年
国	25	有	建	石動神社 本殿・拝殿	2棟	H20.7.8	北区白新町	宗教法人石動神社	寛政8年
国	26	有	建	古峯神社 本殿	1棟	H20.7.8	北区白新町	宗教法人石動神社	天保8年
国	27	有	建	稲荷神社 本殿・拝殿及び幣殿・神輿庫	3棟	H20.7.8	北区葛塚	宗教法人稲荷神社	文化12年
国	28	有	建	開市神社 拝殿	1棟	H20.7.8	北区葛塚	宗教法人稲荷神社	明治4年
国	29	有	建	原家住宅 主屋ほか	10棟	H28.8.1	江南区二本木	個人	明治35年～大正3年頃
国	30	有	建	敬覚寺本堂	1棟	H28.8.1	江南区酒屋町	宗教法人敬覚寺	大正8年
国	31	有	建	小松屋旅館 本館・広間棟・表座敷棟・奥座敷棟	4棟	H28.8.1	西蒲区岩室温泉	個人	大正3年～昭和32年
国	32	有	建	梅嶋家住宅 主屋	1棟	H29.10.27	中央区四ツ屋町	個人	昭和元年頃
国	33	有	建	旧白根配水塔	1棟	H30.5.10	南区上下諏訪木字川原	新潟市	昭和8年
国	34	有	建	中原家住宅 主屋ほか	5棟	H30.5.10	西区赤塚	個人	万延元年～昭和10年頃
国	35	有	建	高須家住宅 主屋・土蔵	2棟	H31.12.5	中央区上大川前通	個人	明治中期
国	36	有	建	旧片桐家住宅 主屋・土蔵	2棟	H33.2.4	中央区上大川前通	個人	明治35年・明治前期

2 区別・ジャンル別文化財件数表（令和3年3月31日現在）

（1）区別

区名	主な旧市町村・地区	国指定	県指定	市指定	指定計	国登録	合計
1 北 区	豊栄市・北地区	2	1	25	28	6	34
2 東 区	中地区・東地区・石山地区	0	1	1	2	0	2
3 中央区	中央地区・東地区・南地区	11	15	27	53	15	68
4 江南区	亀田町・横越町・石山地区・南地区	1	3	17	21	7	28
5 秋葉区	新津市・小須戸町	3	8	37	48	1	49
6 南 区	白根市・味方村・月潟村	2	3	15	20	1	21
7 西 区	黒埼町・坂井輪地区・西地区	0	6	30	36	3	39
8 西蒲区	巻町・西川町・潟東村・中之口村・岩室村	2	4	109	115	3	118
合 計		21	41	261	323	36	359

（2）ジャンル別

種 別		国指定	県指定	市指定	指定計	国登録	合計
有形	建 造 物	5	1	16	22	36	58
	絵 画	1	3	18	22	0	22
	彫 刻	1	5	15	21	0	21
	工 芸 品	1	1	11	13	0	13
	書 跡・典 籍	1	3	29	33	0	33
	古 文 書	0	3	21	24	0	24
	考 古 資 料	1	11	25	37	0	37
	歴 史 資 料	0	5	31	36	0	36
無形	芸 能	0	0	1	1	－	1
	工 芸 技 術	0	0	1	1	－	1
民俗	有 形 民 俗	1	1	16	18	0	18
	無形民俗	風 俗 慣 習	0	1	0	1	1
		民 俗 芸 能	0	0	23	23	23
		民 俗 技 術	0	0	0	0	0
記念物	史 跡	4	2	18	24	0	24
	名 勝	2	1	1	4	0	4
	天 然 記 念 物	4	4	35	43	0	43
合 計		21	41	261	323	36	359

3 歴史文化課等の変遷

期 日	部（◆）と課体制等（○）	内 容
平成11年 4月1日	◆総務局国際文化部 ○歴史文化課設置、企画・文化財係及び歴史資料係体制	・教育委員会生涯学習課等の所管事務を引き継ぎ、歴史文化課設置。
平成17年 4月1日	○企画管理係、文化財係、歴史資料係体制へ	・平成17年3月21日の周辺市町村との合併等に伴う事務に対応するため3係体制へ。
平成18年 4月1日	○企画・文化財係、埋蔵文化財係、歴史資料係体制へ	・合併による市域拡大等から、埋蔵文化財に係る調査事務量急増により係体制変更。
平成19年 4月1日	◆文化スポーツ部 ○歴史資料係を組織拡充し、歴史資料整備室設置	・政令指定都市移行に伴う新潟市行政組織規則施行により、部変更及び新潟市埋蔵文化財センター所管開始。 ・歴史資料整備室は文書館の開設準備に関する事項、公文書分類センターに関する事項を所管。
平成20年 4月1日	◆文化・観光スポーツ部	・新潟市行政組織規則改正による部名の変更。
平成23年 7月30日	○課相当の機関の新潟市文化財センター設置	・歴史文化課所管の新潟市埋蔵文化財センターを廃止し、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存・活用する施設として西区木場に新潟市文化財センターを設置。
平成24年 4月1日	○新津鉄道資料館に関する事項が分掌事務に追加	・新津鉄道資料館の管理運営を開始。
平成25年 4月1日	○企画・文化財担当、埋蔵文化財担当体制へ	・企画文化財係と埋蔵文化財係について、それぞれ係からグループ制に変更。
平成26年 4月1日	◆文化スポーツ部	・新潟市行政組織規則改正による部名の変更。
平成28年 4月1日	○歴史資料整備室を歴史資料整備担当へ組織変更	・歴史資料整備室が廃止され、グループ制に変更。
平成30年 4月1日	○新潟市文化財センターを改組	・文化スポーツ部内に課相当の機関として位置付けられていたものが、歴史文化課の管理の下に置かれる準課相当の機関となる。

令和 2 年度 新潟市文化財調査概要

令和 3 年10月発行 (非売品)

編集・発行 新潟市教育委員会
 (新潟市文化スポーツ部歴史文化課)
 〒951 - 8550
 新潟市中央区学校町通一番町602番地 1
 TEL (025) 228 - 1000 (代表)

印 刷 有限会社スタッフラン
 〒950 - 0211
 新潟市江南区横越川根町 3 丁目13 - 23
 TEL (025) 385 - 5291

